

ebXML 解説書

第 1 部

ebXML 概要

平成 14 年 3 月

(財)日本情報処理開発協会 電子商取引推進センター

この解説書は、経済産業省委託「平成 13 年度 精算・調達・運用支援統合情報システムに関する調査研究」事業の成果です。

はじめに

1999年11月に、国際標準EDI（UN/EDIFACT）の利用グループの支援を受けた国連CEFACT（Center for Trade Facilitation and eBusiness）と、先進的ITベンダーのコンソーシアムであるOASIS（Organisation for Advanced Structured Information Standards）の協業で始められた ebXML イニシャチブは、2001年5月、今後の電子ビジネスコラボレーション実現のフレームワークとなる一連の仕様（ebXML仕様）の第1版を完成し公表した。

ebXML仕様は、従来のレガシーEDIやWEB-EDIをXML化するに留まらず、取引企業同士のそれぞれのアプリケーションが、情報交換により合意されたビジネスプロセスを遂行してビジネス目標を達成する、すなわち電子ビジネスコラボレーションを実現させるために必要な標準仕様を定めている。

今後、当該標準仕様は、ITベンダーの戦略的製品やサービスに取り入れられるとともに、ユーザー業界においてはビジネスプロセス改善の仕組みに採用されて行くことが期待されている。

（財）日本情報処理開発協会では経済産業省の委託を受けて、2001年5月に公表された ebXML 仕様を中心に、電子商取引推進協議会の平成13年度XML/EDI標準化専門委員会の討議結果を反映し、次の6部からなる解説書を作成した。

- 第1部 ebXML 概要
- 第2部 ebXML ビジネスプロセス
- 第3部 ebXML 情報構成要素
- 第4部 ebXML レジストリ・リポジトリ
- 第5部 ebXML 交換協定
- 第6部 ebXML 通信仕様

なお、ebXML仕様は、2001年5月以降、第2章 - 第3章関連はUN/CEFACT、第4章 - 第6章関連はOASISが仕様の改訂・保守を継続しており、ebXML仕様の実装においては該当組織より発表されている最新版の仕様を参照されることを推奨する。

平成14年3月
財団法人日本情報処理開発協会
電子商取引推進センター



Creating A Single Global Electronic Market

テクニカルアーキテクチャ仕様 v1.0.4

ebXML テクニカルアーキテクチャプロジェクトチーム

2001年2月16日

技術検証 ECOM XML/EDI 標準化専門委員会

テクニカルアーキテクチャ仕様 v1.0.4

ebXML テクニカルアーキテクチャプロジェクトチーム

2001 年 2 月 16 日

1. 本書の位置付け

本書は電子ビジネスコミュニティ向けの最終草稿である。本書は自由に配布可能である。本書は今後、ebXML 要件文書が定める正式な品質校閲手順を経る。本書はインターネット・ソサイアティーの標準 RFC 形式に準拠している。

本バージョン：

ebXML_TA_v1.0.4.doc

最新バージョン：

ebXML_TA_v1.0.4.doc

前バージョン：

ebXML_TA_v1.0.3.doc

2. ebXML テクニカルアーキテクチャ参加者

以下の各氏には、本ドキュメントの開発に際して多大なるご協力を賜った。ここに感謝の意を表す。

チームリーダー： Brian Eisenberg, DataChannel

編集者： Brian Eisenberg, DataChannel
Duane Nickull, XML Global Technologies

協力者： Colin Barham, TIE
Al Boseman, ATPCO

Christian Barret, GIP-MDS
Dick Brooks, Group 8760
Cory Casanave, DataAccess Technologies
Robert Cunningham, Military Traffic Management Command, US Army
Christopher Ferris, Sun Microsystems
Anders Grangard, EDI France
Peter Kacandes, Sun Microsystems
Kris Ketels, SWIFT
Piming Kuo, Worldspan
Kyu-Chul Lee, Chungnam National University
Henry Lowe, OMG
Matt MacKenzie, XML Global Technologies
Melanie McCarthy, General Motors
Stefano Pagliani, Sun Microsystems
Bruce Peat, eProcessSolutions
John Petit, KPMG Consulting
Mark Heller, MITRE
Scott Hinkelman, IBM
Lynne Rosenthal, NIST
Nikola Stojanovic, Encoda Systems, Inc.
Jeff Sutor, Sun Microsystems
David RR Webber, XML Global Technologies

3. はじめに

3.1 総括

しなければならない (MUST)、してはならない (MUST NOT)、要求される (REQUIRED)、することになる (SHALL)、することはない (SHALL NOT)、する必要はある (SHOULD)、しないほうがよい (SHOULD NOT)、推奨される (RECOMMENDED)、場合がある (MAY)、選択できる (OPTIONAL) といったキーワードが使用された場合は、RFC 2119 [Bra97] における定義に沿って解釈されるものとする。

本書の全体を通じて、以下の表記法が使われている。

- 頭文字が大文字で斜体のかかった語句は、ebXML 用語集で定義されている。
- [注：は、論述内容をさらに明確化したり、補足的な示唆や資源を提供する]

テクニカルアーキテクチャ仕様 V1.0.4	5
1. 本書の位置付け	5
2. EBXML テクニカルアーキテクチャ参加者	5
3. はじめに	7
3.1 総括	7
3.2 対象読者と範囲	9
3.3 関連文書	9
3.4 規範的参考文献	10
4. 設計目的	10
4.1 問題の説明と ebXML の目標	10
4.2 警告と前提条件	11
4.3 ebXML 仕様の設計規約	11
5. EBXML システム概要	12
6. EBXML 推奨モデリング手法	14
6.1 概要	15
6.2 ebXML 業務運用ビュー	16
6.3 ebXML 機能サービスビュー	19
7. EBXML 機能的段階	20

7.1 実装段階.....	20
7.2 探索・検索段階.....	20
7.3 実行時段階.....	21
8. EBXML 基盤.....	22
8.1 取引参加者情報 [CPP と CPA]	22
8.1.1 はじめに	22
8.1.2 CPP の正式機能	22
8.1.3 CPA の正式機能.....	23
8.1.4 CPP インタフェース	24
8.1.5 CPA インタフェース.....	24
8.1.6 非規範的実装詳細 [CPP と CPA]	25
8.2 ビジネスプロセス・情報モデリング.....	25
8.2.1 はじめに	25
8.2.2 正式機能	27
8.2.3 インタフェース	28
8.2.4 非規範的実装詳細	29
8.3 コア構成要素とコアライブラリの機能.....	30
8.3.1 はじめに	30
8.3.2 正式機能	31
8.3.3 インタフェース	31
8.3.4 非規範的実装詳細	32
8.4 レジストリの機能.....	33
8.4.1 はじめに	33
8.4.2 正式機能	33
8.4.3 インタフェース	35
8.4.4 非規範的実装詳細	36
8.5 メッセージ取扱サービス機能.....	37
8.5.1 はじめに	37
8.5.2 正式機能	38
8.5.3 インタフェース	39
8.5.4 非規範的実装詳細	40
9. 適合性	41
9.1 はじめに.....	41
9.2 ebXML への適合性.....	41
9.3 本技術アーキテクチャ仕様への適合性.....	42
9.4 適合性テストの共通のフレームワーク.....	42

10.0 セキュリティについての配慮	43
10.1 はじめに.....	43
免責	43
COPYRIGHT STATEMENT	43
付録 A：EBXML ビジネスシナリオの例.....	45
シナリオ 1：2 者の取引参加者が合意を結び、電子取引を実行する。	45
シナリオ 2：3 者以上の取引参加者がサプライチェーンを実装するビジネスプロセスを準備し、取引を実行する	46
シナリオ 3：ある会社が、外部の取引サービスを利用するビジネスプロセスを定義するポータルを設立する	48
シナリオ 4：3 者以上の取引参加者が共同ビジネスプロセスを使用した業務取引を実行する	49
著作権について	51

3.2 対象読者と範囲

本書は主に ebXML プロジェクトチームを対象とし、そのタスクをガイドするものである。二次的な対象読者として、ソフトウェア実装者、国際規格団体、その他の産業組織などが挙げられるが、前記に限定されるわけではない。

本書では、ebXML の基礎アーキテクチャおよび、ebXML 概要を紹介し、ebXML の関係、相互作用、および基本的機能を解説している。本書は、(1) ebXML とは何か、(2) ebXML によってどのような問題が解決されるか (3) ebXML の核心的機能とアーキテクチャを学ぶ案内書として利用されるべきものである。

3.3 関連文書

上述したような、ebXML のコンポーネントとその相互関係を詳しく定義する文書は、本書の他にもある。たとえば、以下の内容が書かれている ebXML 仕様書である。

1. 要件
2. ビジネスプロセスと情報メタモデル
3. コア構成要素
4. レジストリとリポジトリ
5. 取引参加者情報

6. メッセージ取扱サービス

これらの仕様書は、 <http://www.ebxml.org> からダウンロードできる。

3.4 規範的参考文献

以下の規格に含まれる規定は、本書の本文で引用されることによって、本仕様書の規定を構成している。以下に記されたバージョンは、本書の発行時点で有効になっている

。これらの規格はどれも改訂されることがあり、本仕様に基づいて合意を行う当事者は、下記規格の最新版の適用状況を調査して頂きたい。

ISO/IEC 14662: Open-edi Reference Model

ISO 11179/3 Metadata Repository

ISO 10646: Character Encoding

ISO 8601:2000 Date/Time/Number Data typing

OASIS Registry/Repository Technical Specification

RFC 2119: Keywords for use in RFC's to Indicate Requirement Levels

UN/CEFACT Modeling Methodology (UMM)

W3C XML v1.0 Second Edition Specification

4. 設計目的

4.1 問題の説明と ebXML の目標

電子データ交換 (EDI) は25年以上にわたり、ビジネス情報を電子形式で交換することによってペーパー文書を解消し、費用を削減し、効率を上げる手段を企業に提供してきた。EDIは、企業の規模に関係なく、事前の取り決めに省いて、企業間で臨機応変に電子ビジネスを実施できるのが理想であるが、EDIでは、このビジョンが実現されていない。電子ビジネスを実装できるのは大企業だけである。また、EDIによって実現される電子ビジネスの多くは支配的立場に立つ企業が中心になっていて、彼らはその取引参加者に独自の統合アプローチを強要している。

拡張マークアップ言語 (XML) は、インターネット上の新しい電子ビジネスアプリケーションでデータ交換形式を定義する手段として、ここ数年の間に急速に圧倒的な支持を集めるようになった。XMLの盛り上がりを見て、誰もが"EDIは死んだ。突如出現したXMLによって完全に廃れた"と解釈した。しかしこれは、ビジネスと技術の視点から見れば稚拙な見解である。

EDI実装は、ビジネスプロセスの中で実質的体験を符号化する。EDI統合に向けて多額の資本を投資した企業は、十分な理由がない限りEDIに投入した資本を放棄しないだろう。XMLを用いると、EDIよりも開放的で柔軟性に富む取引業務が可能になる。また、EDIよりも柔軟で革新的な"電子取引市場"を実現できる。しかし、ビジネスプロセスの要件を満たすメッセージの設計とその意味情報の規格化は、メッセージを符号化する構文とは無関係である。

ebXML仕様のフレームワークでは、XMLの新しい技術力を活用するアーキテクチャの中で、ビジネスプロセスに注がれた多額のEDIの資産を保持することが可能である。

ebXMLの基本目標に関する詳細は、<http://www.ebxml.org>にある ebXML 要件仕様を参照して欲しい。

4.2 警告と前提条件

本仕様は ebXML 概要を紹介していて、ebXML のアプリケーションやコンポーネント、関連するサービスなどを構築する際に必須となるレベルの情報は提供していない。そのようなレベルの情報を得るには、該当する ebXML 仕様を参照して頂きたい。

4.3 ebXML 仕様の設計規約

すべての ebXML 仕様において一貫性のある大文字使用と命名規約を施行するため、大文字使用スタイルについては、"大文字キャメルケース" (UCC) と"小文字キャメルケース" (LCC) を使用する。UCC スタイルでは、各語の 1 文字目を大文字にして名前を合成する。LCC スタイルでは、先頭の語を除く各語の 1 文字目を大文字にする。

1) ebXML DTD、XML スキーマおよび XML インスタンス文書は、ebXML XML インスタンス文書を作る体裁を有する。

- エレメント名は UCC 規約に従う
(例: <UpperCamelCaseElement/>)。
- 属性名は LCC 規約に従う (例: <UpperCamelCaseElement lowerCamelCaseAttribute="Whatever"/>)。

2) UML とオブジェクト制約言語 (OCL) を使って ebXML 生成物を指定する場合は、大文字使用命名で以下の規則に従う。

- クラス、インタフェイス、関連、パッケージ、ステート、ユースケース、アクター名には UCC 規約を使用する
(例: ClassificationNode、Versionable、Active、InsertOrder、Buyer)。
- 属性、オペレーション、役割、ステレオタイプ、インスタンス、イベント、アクション名には LCC 規約を使用する (例: name、notifySender、resident、orderArrived)。

3) 以下はすべての名前にあてはまる一般規則である。

- 略語は控えるべきだが、使用する場合は、大文字を使用する。(例: XMLSignature)。
- アンダースコア (_)、ピリオド (.) およびハイフン (-) は使用してはならない (header.manifest、stock_quote_5、commercial-transaction は使用せず、代わりに HeaderManifest、stockQuote5、CommercialTransaction を使用する)。

5. ebXML システム概要

図 1 は、取引参加者間のユースケースシナリオ(最初に設定し、次に簡単な取引業務に従事し、やり取りを行う)を示している。このモデルは、*ebXML アプリケーション*と関連するアーキテクチャコンポーネントを構成し、配置する際に必要と思われるプロセスと工程の例である。これらのコンポーネントは漸進的に実装可能である。ebXML 仕様はこの単純なモデルに限定されるわけではなく、ここで紹介するサンプルは、そのコンセプトをわかりやすくガイドしている。付録 A には、ebXML 実装の具体例が記載されている。

以下に ebXML のシステム概要を記述する。

1. ビジネスプロセスとその関連情報モデルを記述する標準メカニズム

2. ビジネスプロセスと情報メタモデルを、共有し、再利用できる形に登録し、蓄積するためのメカニズム。
3. 取引参加者に関する情報の探索。
 - 取引参加者がサポートするビジネスプロセス。
 - ビジネスプロセスをサポートするため、取引参加者が用意する取引サービスインタフェース。
 - 各参加者の取引サービスインタフェース間で交換されるビジネスメッセージ。
 - サポートされる転送、セキュリティおよび符号化プロトコルの技術的な構成。
4. 前記情報を、探索し、引き出せる形に登録するメカニズム。
5. 相互に合意した取引合意の実行を記述するメカニズム。取引合意は、上記の3項目から各参加者によって提供される情報から導き出すことができる。（Collaboration Protocol Agreement - CPA）
6. 安全かつ信頼できる取引参加者と、相互運用可能なメッセージ交換を可能にする、標準化されたビジネスメッセージ取扱サービスのフレームワーク。
7. 取引合意で明確化になった制約に従い、取り決められたビジネスプロセスに従事するために必要な、メッセージ取扱サービスを構成するメカニズム。

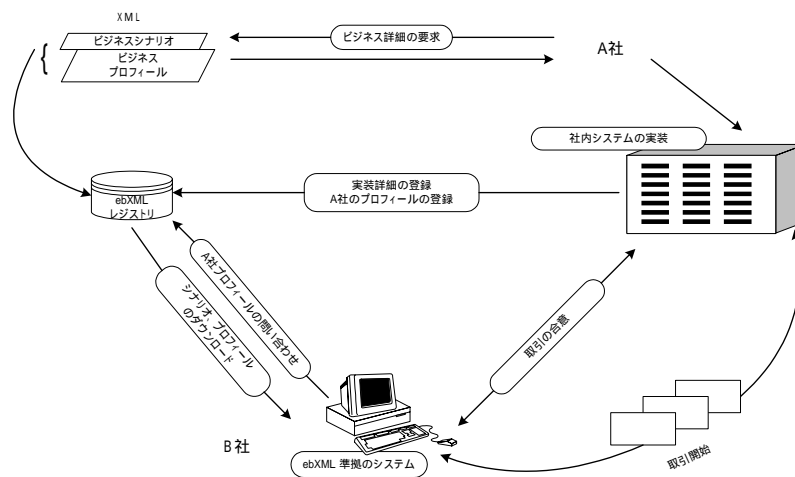


図1 - ebXMLを使って電子ビジネスを実施する2つの会社の相互作用を示す概要

図1のA社は前提条件として、インターネットを介して ebXML レジストリにアクセスできる(図1、ステップ1)。A社は、ebXML レジストリの内容を吟味したうえで、独自の ebXML 準拠のアプリケーションを構築、配置を決定する(図1、ステップ2)。カスタムソフトウェアの開発は、ebXML に参加するための前提条件ではない。ebXML 準拠のアプリケーションとコンポーネントは、商用のソリューションとして購入することもできる。

次にA社は、自社のビジネスプロファイル情報(実装の詳細と参照リンクを含む)を ebXML レジストリに申請する(図1、ステップ3)。ebXML レジストリに申請されるビジネスプロファイルには、ebXML に関する同社の能力と制約のほかに、サポートするビジネスシナリオが記載されている。ビジネスシナリオは、XML 版のビジネスプロセス・関連情報(たとえば、消費税計算)であり、A社はそのビジネスシナリオの中で業務を遂行する。ビジネスシナリオの形式と用途に間違いのないことを確認したら、A社に受け取りの通知が送られる(図1、ステップ3)。

B社は、A社がサポートするビジネスシナリオを ebXML レジストリの中で見つける(図1、ステップ4)。そして、ebXML を使用したビジネスシナリオに従事する意向を伝える依頼書をA社に送る(図1、ステップ5)。B社は、商品化された ebXML 準拠のアプリケーションを入手する。

B社は、シナリオに従事する前に、A社の ebXML 準拠のソフトウェアインタフェースに向けて直接に取引合意提案書を提出する。この取引合意提案書は、相互に合意されるビジネスシナリオと具体的な取り決めに略述するものである。取引合意は、トランザクションを実行するメッセージ取扱要件や不測事態への対応計画、セキュリティ関係の要件などに関する情報も含む(図1、ステップ5)。そしてA社が取引合意を承諾する。これで、A社とB社が ebXML を使った電子ビジネスに従う準備が整う(図1、ステップ6)。

6. ebXML 推奨モデリング手法

ビジネスプロセス・情報モデリングは強制ではない。ただし、ビジネスプロセス・情報のモデリングを行う実装者やユーザは、UML を使用した UN/CEFACT モデリング手法(UMM)の使用を推奨する。

6.1 概要

業務習慣は組織によって大きく異なるが、ほとんどの活動は、業務内容によって特定のビジネスプロセスに分割できる。このモデリングプロセスの分析によって、標準化の候補となるビジネスプロセス・情報メタモデルが明らかになる。この ebXML アプローチでは、相互運用可能なコンポーネントの基礎となる標準再利用可能コンポーネントの検索が可能である。

UN/CEFACT モデリング手法 (UMM) では、以下の2つのビューを使って電子ビジネストランザクションに関連する事柄を記述する。このモデルは、標準電子取引参照モデル、ISO/IEC 14662 に基づいている。

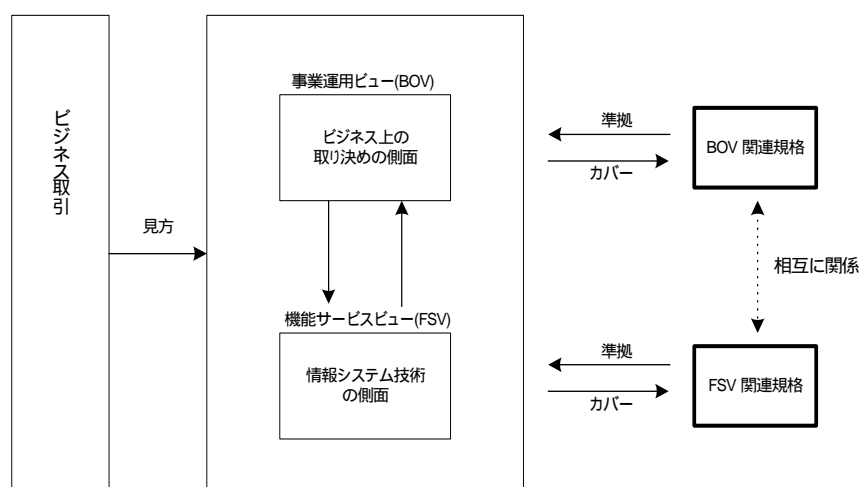


図2 - ebXML 推奨モデリング手法

UN/CEFACT モデリング手法 (UMM) は、図2に示す業務運用ビュー (BOV) と BOV を支援する機能サービスビュー (FSV) に分けられる。FSV は、ソフトウェアベンダーが参照モデルとして利用し、ソフトウェアベンダーの開発プロセスを支援するものである。UN/CEFACT モデリング手法 (UMM) の基本目標は、

運用ビューと機能ビューとを明確に区別することである。そうすることで、システム相互運用性とレガシーシステムとの互換性を保証している。したがって、作成される BOV 関係規格は、ebXML 準拠のアプリケーション/コンポーネントのビジネスプロセス・情報メタモデルを構成するための *UN/CEFACT モデリング手法(UMM)*を提供している。

BOV は以下のことに重点を置いている。

- a) トランザクションと関連データ交換におけるビジネスデータの意味情報
- b) 取引業務のアーキテクチャ
 - 操業上の規約
 - 合意と取り決め
 - 相互の義務と要件

これらは特に、ebXML *取引参加者の*ビジネスニーズに応じて適用される。

FSV は、ebXML の機械的なサービスに重点を置いている。また、*FSV* は以下の情報技術側面に焦点を当てている。

- 機能的能力
- ビジネスサービスインタフェース
- プロトコルとメッセージ取扱サービス

FSV は下記を含むが、これらに限定されるわけではない。

- 実装、探索、配置の能力と実行時のシナリオ
- ユーザインタフェース
- データ転送基盤インタフェース
- 異なる組織による XML 語彙配置の相互運用性を可能にする *プロトコル*

6.2 ebXML 業務運用ビュー

本節で述べるモデリング手法は、ebXML 準拠の取引業務に参加する必須要件ではない。

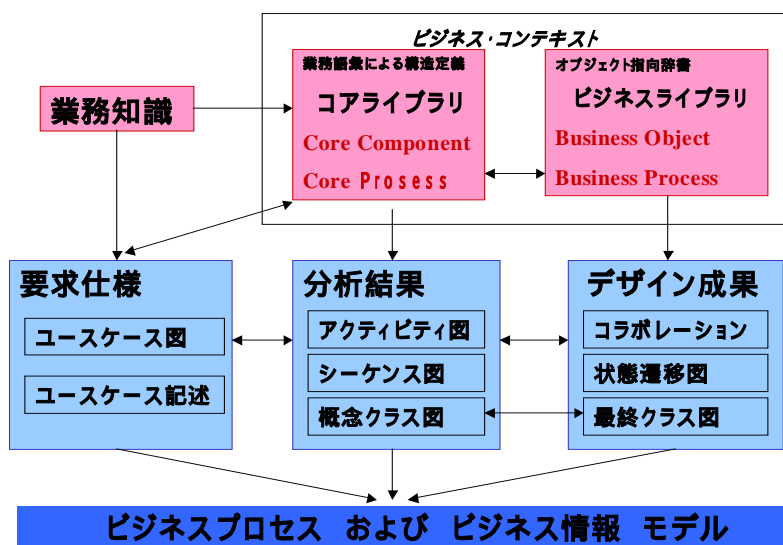


図3 - 業務運用ビューの詳細表示

図3では、業務知識をコアライブラリの中で捕捉している。コアライブラリの中は、公認された産業分類体系/分類法に関連したビジネス用語で表現される、データとプロセスの定義が含まれる。コアライブラリは、特定の業務/業界の言語と、一般化されたコンテキスト中立言語を用いたモデルで表現される知識を橋渡しする。

第1段階では、ユースケース図・記述を使って問題を記述する要件生成物を定義する。コアライブラリの項目が ebXML 準拠のレジストリから入手できる場合はそれを利用し、入手できないのであれば新しいコアライブラリ項目を作成し、ebXML 準拠のレジストリに登録する。

第2段階（分析）では、ビジネスプロセスを記述するアクティビティ図とシーケンス図（UN/CEFACT モデリング手法仕様書で定義）を作成する。クラス図は、関連する情報単位（取引文書）を具体化している。この分析段階では、コアライブラリの中にある業務知識をモデルに反映させる。従って、オブジェクト指向の適用を強制はしない。クラス図は、自由構造のデータ図である。分析・設計時の生成物を作成するプロセスでは、ビジネスライブラリの中の共通ビジネスプロセスを参照できる。

標準化の最終段階にあたる設計は、*UN/CEFACT* モデリング手法に基づいてオブジェクト指向を適用することによって実現できる。コラボレーション図の他に、ステートチャート図を作成する場合もある。同一業種または別業種間で異なるモデルとの整合性をとるために、分析段階ではクラスビュー図が使用される。

ebXML では、あらゆるクラス図にビジネス情報オブジェクトを適用することで相互運用性が達成される。ビジネスプロセスは、共通のビジネス情報オブジェクトとコア構成要素の共通なセットを利用する *UN/CEFACT* モデリング手法 (*UMM*) の適用して作成される。

6.3 ebXML 機能サービスビュー

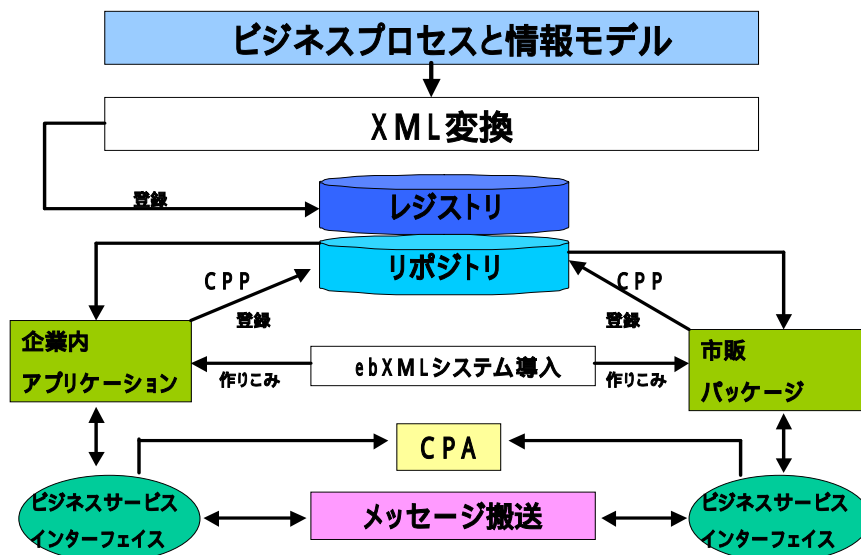


図4 - ebXML 機能サービスビュー

図4で示すように、ebXML レジストリサービスは、ビジネスプロセス・情報モデルとそのXML表現、コア構成要素、およびコラボレーションプロトコルプロファイルを蓄積する。ビジネスプロセス・情報メタモデルはモデリング構文として蓄積できるが、レジストリの中ではXML構文としても蓄積できる。このXMLベースのビジネス情報は、一貫した方法論を使用して原子データレベルまで探索可能な形で表現する必要がある。

基礎となる ebXML アーキテクチャは、ebXML 基盤の中で 1 か所の不具合が生じた場合でも、その影響が全体に波及する可能性を最小限に抑えるように分散されている。これは、具体的にはレジストリサービスを指す（このアーキテクチャの詳細については、8.4 節「レジストリの機能」を参照して頂きたい）。

7. ebXML 機能的段階

7.1 実装段階

実装段階では特に、ebXML 基盤のアプリケーションを実行する。ebXML 準拠のトランザクションに従う取引参加者は、最初に ebXML 仕様書のコピーを入手する必要がある。そして、ebXML 仕様書を調査した後に、コアライブラリとビジネスライブラリをダウンロードする。取引参加者は、他の取引参加者のビジネスプロセス情報（他の取引参加者のビジネスプロフィールに蓄積）を請求して分析、吟味できる。その他にも取引参加者は、第三者が開発したアプリケーションを利用して ebXML を実装ができ、自身のビジネスプロセス情報を ebXML 準拠のレジストリサービスに申請できる。

図 5 は、ebXML レジストリサービスと取引参加者との基本的なやり取りを图示している。

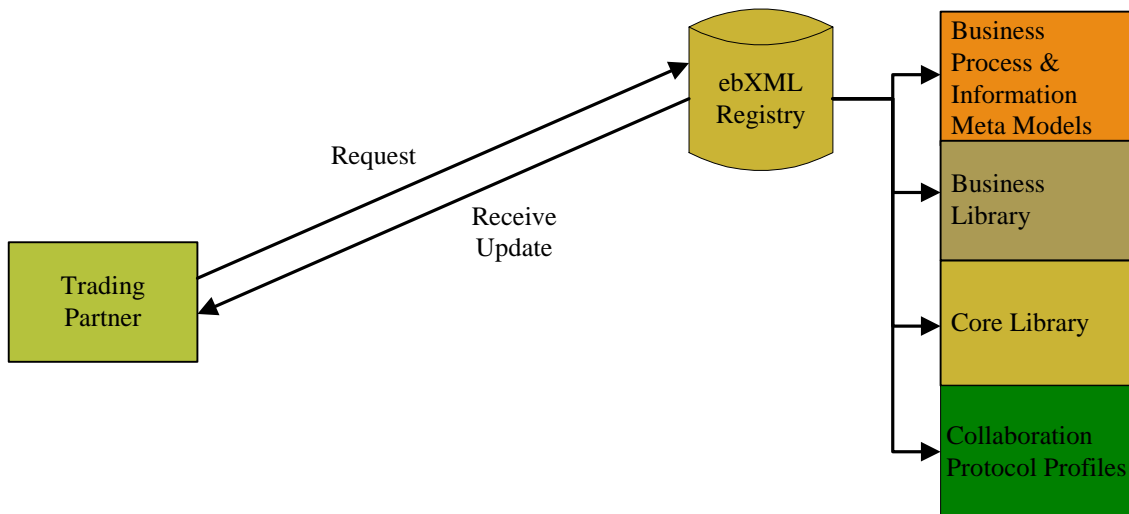


図5 - 機能サービスビュー：実装段階

7.2 探索・検索段階

探索・検索段階では、ebXML に関連する資源の探索のあらゆる側面を扱っている。ebXML 取引サービスインタフェースの実装を行った取引参加者は、探索・検索プロセスに着手できる（図 6）。探索方法の 1 つとして、別の取引参加者のコラボレーションプロトコルプロフィールを請求する方法がある。ebXML 取引

サービスインタフェースでは、コアライブラリとビジネスライブラリの最新情報の請求と、更新済み/新規のビジネスプロセス・情報メタモデルの請求をサポートしなければならない。これは、取引参加者が、他の取引参加者が請求しているビジネス情報を探索する段階である。

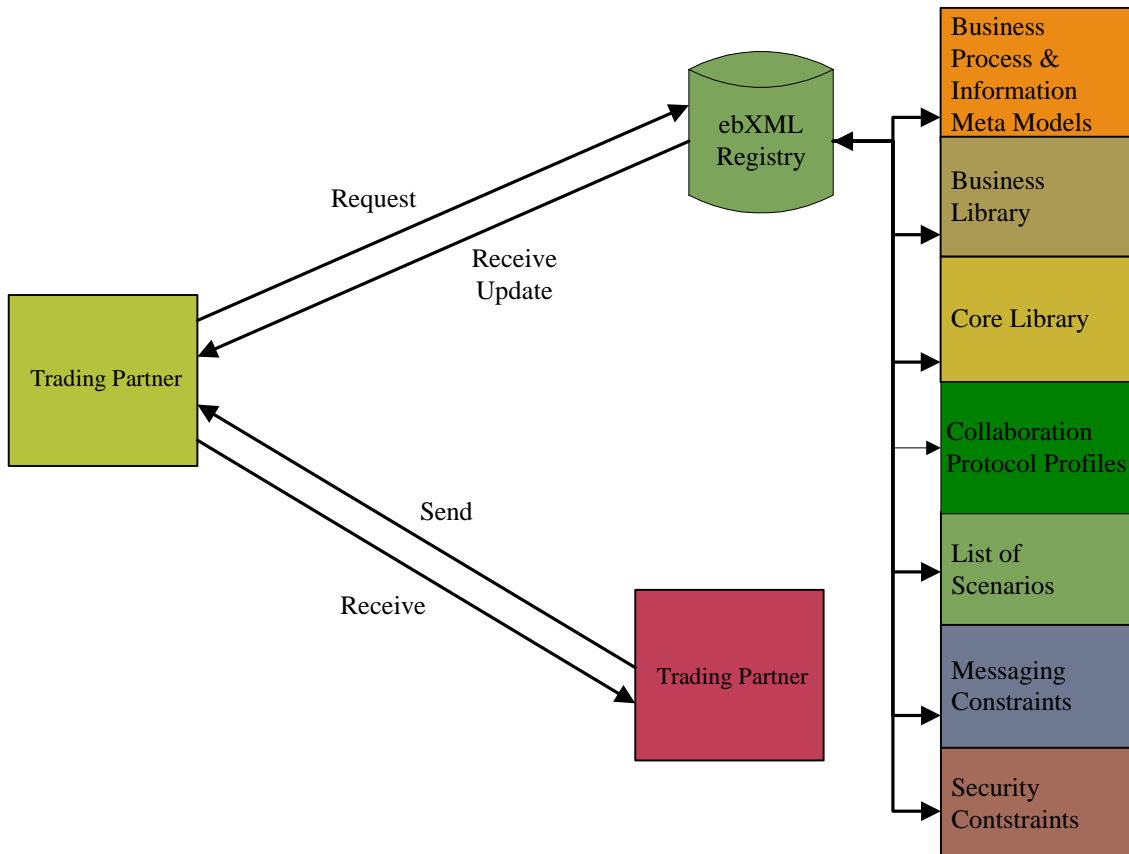


図6 - 機能サービスビュー：探索・検索段階

7.3 実行時段階

実行時段階では、実際の ebXML トランザクションで ebXML シナリオを実行する。実行時段階では、ebXML メッセージ取扱サービスを利用しながら、取引参加者間で ebXML メッセージが交換される。

例えば ebXML CPA は、ebXML メッセージ取扱サービスを使用して定義された振り付けによってリンクされているビジネスメッセージ交換群である。

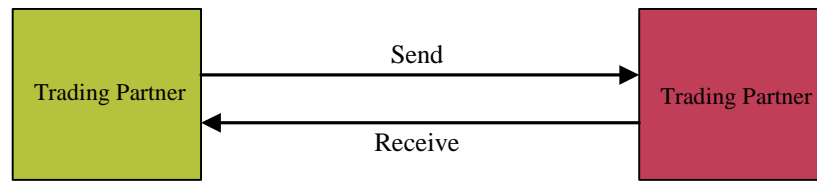


図7 - 機能サービスビュー：実行時段階

[注：レジストリへの実行時アクセスはない。実行時にレジストリへのコールが必要になる場合、そのコールは探索・検索段階への逆戻りとして見なすべきである。]

8. ebXML 基盤

8.1 取引参加者情報 [CPP と CPA]

8.1.1 はじめに

電子ビジネスの実施プロセスを支援するため、取引参加者は、サポートするビジネスプロセスに関する情報を、ビジネス情報交換能力に関する技術的な実装の詳細と併せて、公開するメカニズムを必要としている。これは、コラボレーションプロトコルプロファイル (CPP) を使用することによって達成される。CPP とは、取引参加者が、サポートする自分たちのビジネスプロセスと取引サービスインタフェースの要件を、ebXML 準拠している他の全ての取引参加者が理解できる形に表現する文書である。

CPA と呼ばれる特別な取引合意は、複数 CPP の共通部分から導き出される。CPA は、ebXML による取引業務を行ないたい複数取引参加者間で交わされる正式な合意である。

8.1.2 CPP の正式機能

CPP は、取引参加者がサポートする具体的な能力と、その取引参加者とビジネス文書の交換に必要なサービスインタフェース要件を記述するものである。CPP の中には取引参加者に関する必須の情報を含み、その情報は、連絡情報、産業分類、サポートされるビジネスプロセス、インタフェース要件、メッセージ取扱サービス要件などを含むが、前記に限定されるわけではない。CPP はその他

にも、セキュリティの情報や、実装に関する情報を含む。ebXML 準拠の取引参加者はそれぞれ、ebXML 準拠のレジストリサービスの中で各自の CPP を登録する必要がある。レジストリサービスでは、(1) 取引相手の発見 (2) 他の取引参加者がサポートしているビジネスプロセスの探索の実施ができる。

CPP 定義では、複数の選択肢が存在する場合に、あらゆるインスタンスの中で選択肢を明確に選択可能にする必要がある (たとえば、HTTP または SMTP 転送)。

8.1.3 CPA の正式機能

コラボレーションプロトコル合意書 (CPA) とは、ebXML を使った電子ビジネスを行ないたい両取引参加者が相互に合意する、2 つの CPP の共通部分に相当する文書である。

CPA では、(1) メッセージ取扱サービス (2) 複数の取引参加者間で合意されるビジネスプロセス要件を記述する。ebXML は概念上、部分集合を絞り込んで電子ビジネスを実行する CPA に至る 3 レベルのビューをサポートしている。一番外側は取引参加者がサポートできる全ての能力のすべてに関係し、取引参加者が"この先"実際にサポートする部分集合を含む。

CPA の中には、メッセージ取扱サービスインタフェースの要件のほかに、電子ビジネスを行うにあたって両取引参加者が使用に合意する、相互に合意されたビジネスプロセスに関する技術的な実装の詳細を含まなければならない。取引参加者は、自身の CPA を ebXML 準拠のレジストリサービスに登録ができるが、これは、CPA 作成プロセスの必須部分ではない。

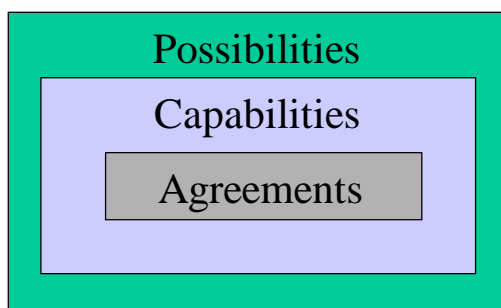


図8-3 レベルの CPA ビュー

取引コラボレーションは、ebXML 取引参加者が主張できる第1位のサポート要請項目である。取引コラボレーションに関する"サポートの要請"は、ebXML レジストリやその他のサービスなど、ディレクトリサービスでの公開や宣伝のために特別に定義される、独自のプロフィールによって特定される。図9は、ebXML 中でのコラボレーションプロトコル合意書の範囲である。

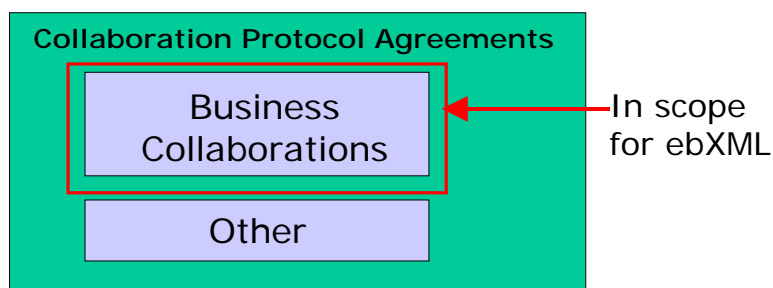


図9 - CPA の範囲

CPA-CPP 仕様は、CPA の構成・交渉手順についてのアドバイスを盛り込んだ非規範的付属書を含む。

8.1.4 CPP インタフェース

ビジネスプロセスとのインタフェース

CPP は、CPP インスタンスを所有する取引参加者によってサポートされる1つ以上のビジネスプロセスの参照が必要とされる。CPP は、ビジネスプロセスの中でユーザが引き受けることのできる役割を参照しなければならない。"購入"ビジネスプロセスにおける"売手"と"買手"の概念は、役割の一例である。

CPP は、ebXML レジストリに蓄積、検索可能でなければならない。

CPP はまた、ebXML メッセージヘッダの作成時に用いるリンクの詳細を記述する必要がある。

8.1.5 CPA インタフェース

CPA は、取引参加者が利用する取引サービスインタフェースを決定付け、取り決めを実行しようとする全取引参加者によって合意される一連のパラメータによって取引サービスインタフェースを制約する。

CPA は CPP に対する インタフェースを持ち、そこでは、取引参加者の能力 (CPP) を"この先"実行するもの (CPA) に絞り込む相互交渉のプロセスを通して CPA が導き出される。

CPA は、具体的なビジネスプロセスと、そのビジネスプロセスを実行する相互作用要件に言及しなければならない。

8.1.6 非規範的実装詳細 [CPP と CPA]

CPA は探索・検索段階の後に協議され、基本的には、複数の取引参加者がビジネス情報交換にあたって使用に合意するメッセージ取扱サービスとビジネスプロセスの関係情報のスナップショットにあたる。承諾済み CPA に含まれるパラメータが取決め後に変化する場合は、取引参加者間で新しい CPA を協議する。

場合によっては、臨時の CPA、非公式の CPA、または黙示的な CPA を記述する必要性、あるいは記述することが望まれる。

ebXML の最終目標は、完全に自動化された CPA の生成である。この目標を達成するため、CPA 交渉プロセスのための正式な方法論を明確化する必要がある。

8.2 ビジネスプロセス・情報モデリング

8.2.1 はじめに

ebXML ビジネスプロセス・情報メタモデルは、取引参加者が一貫性のあるモデリング手法を用いて、ビジネスシナリオの情報を具体化するメカニズムである。ビジネスプロセスは、取引参加者が役割と関係、責任を引き受けて、共同コラボレーションの中で他の取引参加者と相互作用する方法を詳述する。役割間の相互作用は、振り付けされた一連の取引業務の形で発生する。取引業務はそれぞれ、電子ビジネス文書の交換として表現される。取引文書は、再利用可能なビジネス情報オブジェクトから合成される (8.2.3 節「インタフェース」で後述する「コア構成要素への関係」を参照)。さらに低いレベルでは、再利用可能コア構成要素からビジネスプロセスを合成でき、再利用可能コアプロセスからビジネス情報オブジェクトを合成できる。

ebXML ビジネスプロセス・情報メタモデルは、要件・分析および設計の視点をサポートする。その中で、意味情報（語彙）を提供し、*ビジネスプロセス・情報の統合と相互運用性を促進するために必要な生成物の仕様の基礎を形成する。*

ebXML 取引業務を実行するシステムを構成するために、要求される要素の直接的仕様をサポートするため、別のビュー、すなわち仕様スキーマも提供される。他のいくつかのビューからモデリング要素を描くことによって、仕様スキーマは、*ebXML ビジネスプロセス・情報メタモデルの意味情報部分集合を形成する。* この仕様スキーマは、*UML プロファイルと DTD という 2 つの独立した表現形式で入手できる。*

ebXML *ビジネスプロセス・情報メタモデル*と ebXML *仕様スキーマ*との関係は、*図 10 のとおりである。*

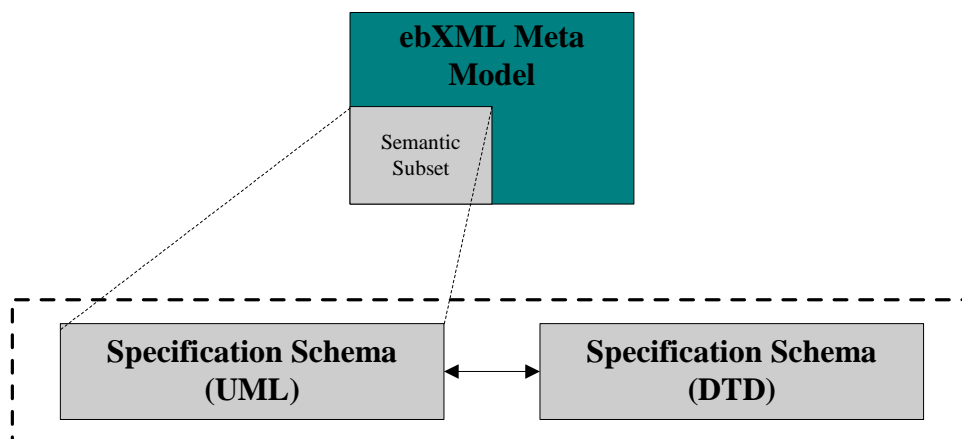


図 10 - ebXML メタモデル - 意味情報部分集合

仕様スキーマは、取引業務の指定と取引業務から取引コラボレーションへの振り付けをサポートする。取引業務は、標準パターンを使用して実装できる。これらのパターンによって、電子トランザクションを実行する取引参加者間で行われる実際のメッセージやシグナルの交換が決まる。パターン指定をサポートするため、仕様スキーマには、標準パターンと、標準パターンに共通のモデリング要素が付属している。ビジネスプロセス仕様は、この仕様スキーマから指定されるビジネスプロセス・情報メタモデルと、所望のパターンの識別から構成される。この情報は、コラボレーションプロトコルプロファイル (CPP) と CPA を生成する重要な入力要素になる。これは図 11 のように表現できる。

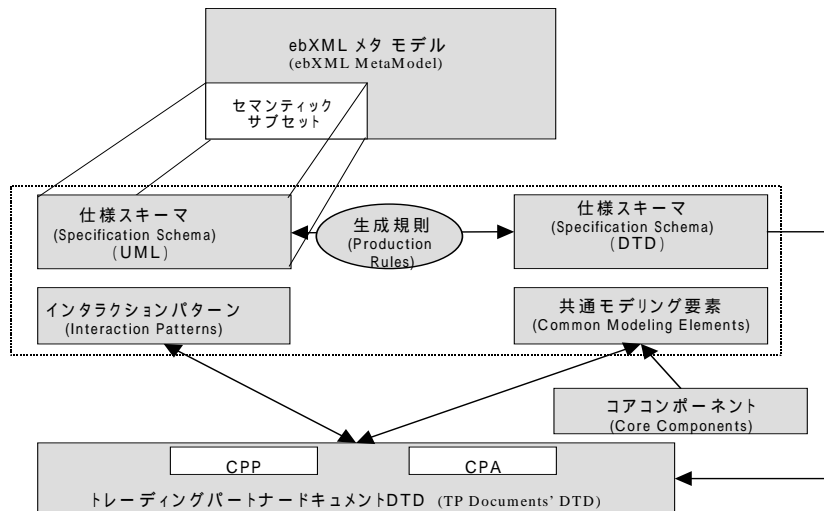


図11 - ebXML メタモデル

ebXML では、モデリング言語を使用して新しいビジネスプロセスの作成を強制はしていないが、モデリング言語を使ってビジネスプロセスを開発する場合、そのモデリング言語は統一モデリング言語 (UML) でなければならない。これは、一貫性のある単一モデリング手法を使用して、新しいビジネスプロセスの作成が保証される。一貫性のある単一モデリング手法を使用することの大きな利点は、モデルを比較して既存ビジネスプロセスとの重複を避けることが可能な点である。

一貫性のあるビジネスプロセス・情報モデルの作成を促進するため、ebXML は今後、コアライブラリと平行しながら共通ビジネスプロセスを定義するだろう。ebXML に準拠しているのユーザは、この共通ビジネスプロセス群の拡張や独自のビジネスプロセスの使用を要請できる。

8.2.2 正式機能

ビジネスプロセス文書インスタンスの表現は、取引の完全自動化を支援するためにその情報を人間とアプリケーションの両方が読める形にする必要がある。

ビジネスプロセスは、レジストリメカニズムの中で蓄積、検索ができるようにするために、ebXML レジストリに登録される。

また、ビジネスプロセスは、アプリケーションが理解できるように XML 構文で表現されなければならない。ビジネスプロセスは、ビジネスプロセス・情報メタモデルとして、あるいは当該モデルの XML 表現として構築できる。ビジネスプロセスは、以下のタイプの情報を表現できる。

- 文書インスタンス交換の振り付け（たとえば、“購入”ebXML トランザクションを実行する両取引参加者間で必要とされるメッセージ交換の振り付け）
- 業務データに構造を加えるビジネスプロセス・情報メタモデルやビジネス文書（あるいは DTD やスキーマ）への参照。
- ビジネスプロセスにおける各参加者の役割定義。

ビジネスプロセスは：

- コア構成要素運用についてのコンテキスト制約を提供する。
- CPA を確立するためのフレームワークを提供する。
- ビジネスプロセスのドメインオーナーを、関連のある連絡情報とともに指定する。

[注：上記のリストは包括的でない。]

8.2.3 インタフェース

CPP および CPA への関係

取引参加者の CPP インスタンスは、0 個以上のビジネスプロセスをサポートしている取引参加者の機能的・技術的能力と、各プロセスにおける 1 または複数の役割を定義している。

取引参加者間の合意は、両取引参加者が今後ともに取引業務を実施する際の具体的な条件を定義している。ビジネスプロセスとその情報メタモデルと CPA との間のインタフェースは、ビジネスプロセス文書の中に含まれる。これは、ビジネスプロセス・情報メタモデルの取引業務層とコラボレーション層に相当する XML 文書としてインスタンス化される。ビジネスプロセスモデルと取引参加者情報モデルとの間では、商取引のシーケンスの XML 表現が共有される。

コア構成要素との関係

ビジネスプロセスインスタンスでは、他の取引参加者とのビジネスデータ交換についての制約を指定する必要がある。ビジネス情報は、ebXML コアライブラリのコンポーネントで合成される。ビジネスプロセス文書は、適切な業務・情報モデルやビジネス文書（あるいは DTD またはスキーマ）を参照する XML 文書を利用しながら、直接的、もしくは、間接的にコア構成要素を参照する。コア構成要素とコアライブラリのインタフェースは各コンポーネントの一意的識別子を用いる。

ebXML メッセージ取扱への関係

ビジネスプロセスインスタンスは、ebXML メッセージを介して、あるレジストリサービスから別のレジストリサービスにかけて転送可能でなければならない。さらに、ebXML メッセージ取扱サービスを介してレジストリとユーザアプリケーションとの間で転送可能でなければならない。

レジストリシステムとの関係

ebXML 基盤中での使用が意図されるビジネスプロセスインスタンスは、レジストリ問合せを通じて検索可能でなければならない。従って、各ビジネスプロセスは一意的識別子を持つ必要がある。

8.2.4 非規範的実装詳細

ビジネス情報オブジェクトや取引文書の生成は、ビジネスプロセスから導き出される一連のコンテキストによって導出される。図 12 は、このアーキテクチャのモデリング層を強調している。

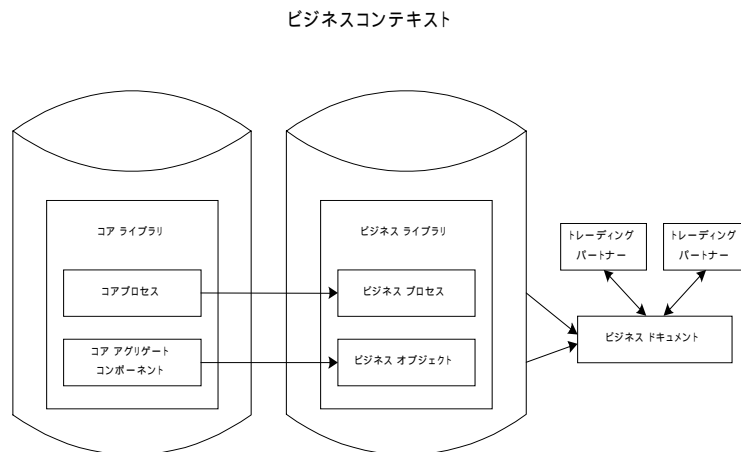


図12 - ebXML ビジネスプロセス・情報モデリング層

ebXML ビジネスプロセス・情報メタモデルは、UN/CEFACT モデリング手法 (UMM) に沿って作成する。あるいは、ebXML ビジネスプロセス・情報メタモデルに従う他の何らかの手法を用いる。

8.3 コア構成要素とコアライブラリの機能

8.3.1 はじめに

コア構成要素は、実世界のビジネスコンセプトに関する情報を具体化し、さらにそのコンセプトと他のビジネス情報オブジェクトと、特定の ebXML 電子ビジネスシナリオの中でコア/集約情報エンティティが使用法を記述するコンテキスト記述との関係を具体化するものである。

コア構成要素は、個別のビジネス情報か、"相伴う" ビジネス情報オブジェクトの必然的集団のいずれかであり、それらを使って集約情報エンティティを組み立てることができる。

ebXML コア構成要素プロジェクトチームは、最初のコア構成要素群を定義する。ebXML ユーザは、ebXML コアライブラリからコンポーネントを採用し、コンポーネントを拡張する。

8.3.2 正式機能

最低限度の要件として、コア構成要素は以下の機能を促進しなければならない。

コア構成要素は、ebXML レジストリで蓄積、検索可能である。

コア構成要素では、電子ビジネスのニーズを満たす最低限度の情報群を捕捉し、保持する。

コア構成要素は、XML 構文を使って表現可能である。

コア構成要素は、以下のものを内包できる。

- 1 以上のビジネス情報オブジェクトと共同する別のコア構成要素。
- 0 以上のビジネス情報オブジェクトと共同する他のコア構成要素。

コア構成要素は一意に識別できる。

8.3.3 インタフェース

コア構成要素は、取引文書インスタンスから直接的、もしくは、間接的に参照する。ビジネスプロセスは、取引文書インスタンスの一部として、必須情報がオプション情報として単一もしくは、複数のコア構成要素集団を特定できる。

コア構成要素は、レジストリの中で蓄積可能、検索可能であるので、当該レジストリとのつながりを持たなければならない。

コア構成要素は、それが意味情報等価につき双方向、もしくは、片方向に参照されることから、別の XML 語彙の XML エlement とのつながりを持たなければならない。

8.3.4 非規範的実装詳細

コア構成要素は属性を含むか、もしくは、別のコア構成要素の一部になり、コア構成要素が用いられる具体的なコンテキストを指定される。

特定のコンテキストでコア構成要素を集約するプロセスは、別のコア構成要素の中でのコア構成要素を識別する手段を含むことになる。これは、別のコア構成要素や集約情報エンティティでコア構成要素の再利用を促進する構造的コンテキストの組み合わせになる。これをビジネスコンテキストという。

コンテキストはまた、コア構成要素のビジネス情報オブジェクトのインスタンスを定義するビジネスプロセス・情報メタモデルを使用して定義される。

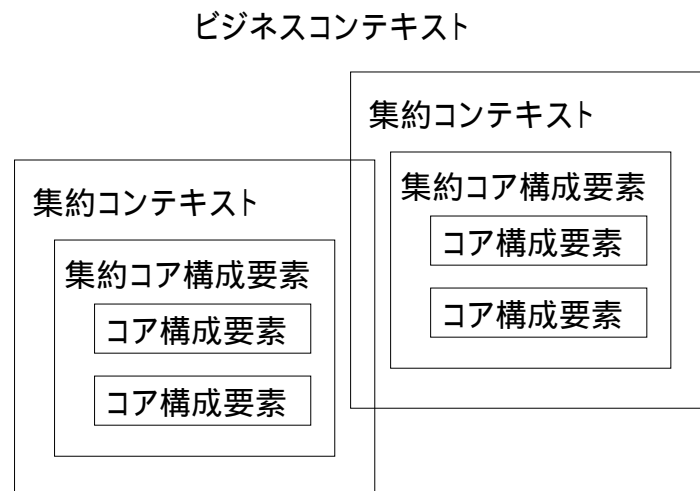


図13 - 集約コンテキスト、集約情報エンティティ、およびコア構成要素を使用して定義されるビジネスコンテキスト

コア構成要素の中のコア構成要素やビジネス情報オブジェクトは、必須、もしくは、オプションのいずれかになる。コア構成要素の基本的必須/オプション多重度は、特定のコンテキスト、またはコンテキストの組み合わせ（集約またはビジネスコンテキスト）で変化する。

8.4 レジストリの機能

8.4.1 はじめに

ebXML レジストリは、取引参加者間の情報共有を可能にするサービスを提供する。レジストリは、登録項目のメタデータとのインタフェースを維持するコンポーネントである。ebXML レジストリへのアクセスは、レジストリサービスが提示するインタフェース (API) を通じて提供される。

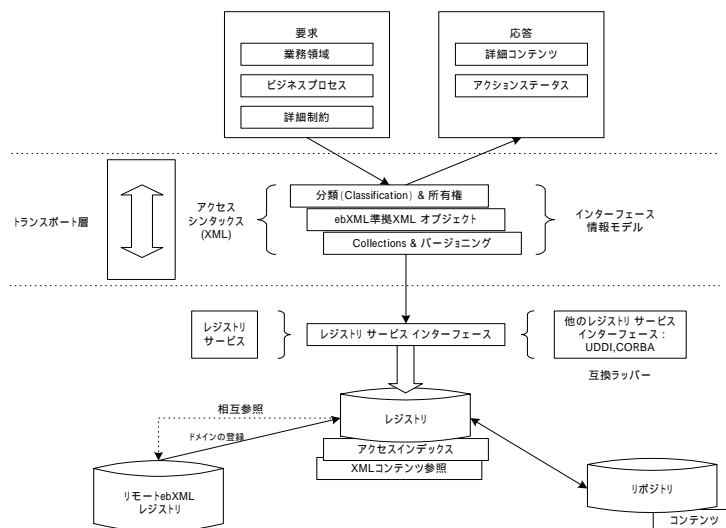


図14 - 総合レジストリアーキテクチャ

8.4.2 正式機能

レジストリは、多バイト文字セットを使う構文で表現される項目の蓄積にも対応できるように便宜をはかる必要がある。

各レジストリ項目は、申請組織によって定義される各粒度レベルで、一意に識別可能でなければならない。これは、アプリケーションからレジストリへの問合せを行う際に欠かせない。

レジストリは、一意な識別子を検索するコンテキスト問合せに対する応答として、0または1個の肯定一致を返さなければならない。そのような問合せで複数の肯定一致が表示される場合は、*レジストリ当局*にエラーメッセージを報告する。

*レジストリ項目*は、名前の識別、記述、管理ステータスとアクセスステータスを与え、永続性と可変性を定義し、既定の分類体系に従って名前を分類し、ファイル表現型を宣言し、提出組織と責任組織を識別する、情報関連が可能な形に構造化する。

*レジストリインタフェース*は、アプリケーションからレジストリへのアクセスメカニズムとして機能する。人間対レジストリの相互作用は、単独のインタフェースとしてではなく、*レジストリインタフェース上の1層*として組み入れる（例えば Web ブラウザ）。

*レジストリインタフェース*は、基礎となるネットワークプロトコルスタックから独立した形として設計する（例えば、TCP/IP 上の HTTP/SMTP）。*レジストリインタフェース*との相互作用についての具体的な指示は、ebXML メッセージの搬送内容の中に内包する場合がある。

*レジストリ*がサポートするプロセスは、以下のものを含む。

- レジストリとレジストリクライアントとの間の特別な CPA。
- *レジストリ*と*レジストリクライアント*をともなう機能的プロセス。
- 特定ビジネスプロセスの一部として*レジストリクライアント*と*レジストリ*との間で交換されるビジネスメッセージ。
- ビジネスメッセージと関連する問合せ・応答メカニズムをサポートする原子的インタフェースメカニズム。
- ebXML 準拠のレジストリ間の相互作用を調和させるための CPA
- *レジストリ*対*レジストリ*相互作用のための機能的プロセス。
- 救済措置を含むエラー応答および条件。

探索プロセスを促進するため、人間と*レジストリ*との相互作用には、ブラウズ問合せとドリルダウン問合せを使用する（たとえば、Web ブラウザを介して）。ユーザは、*レジストリ*分類体系に基づいて内容をブラウズし、移動できなければならない。

レジストリサービスは、レジストリ項目とそのメタデータを作成、修正、および削除するために存在する。

レジストリによってアクセスされるリポジトリに認証と保護を提供するため、適切なセキュリティプロトコルを配置し得る。

ebXML レジストリシステムの中のすべての項目には、一意識別子 (UID) を割り当てる。あらゆる ebXML 内容について、UID キーは必須のリファレンスである。レジストリエントリが真にグローバルレベルで一意的であることを保証するために絶対一意識別子 (UUID) を使用する。その場合、システムがレジストリで UUID を問い合わせる場合には、1つ (ただ1つ) の結果が引き出される必要がある。

ビジネスプロセス・情報メタモデルの意味情報認識を促進するため、レジストリサービスには、人間が判読できるレジストリ項目記述を組み入れるためのメカニズムを用意する。既存のビジネスプロセス・情報メタモデル (例: RosettaNet PIP) やコア構成要素には、ebXML 準拠のレジストリサービスで登録する際に UID キーを割り当てる。これらの UID キーは、物理的 XML 構文を用いてさまざまな方法で実装できる。これらのメカニズムは下記を含むことができるが、それらに限定されるわけではない:

- 純粋な明示的参照メカニズム (例: URN:UID 手法)、
- 参照手法 (例: URI:UID / namespace:UID)、
- W3C スキーマと互換のオブジェクトに基づく参照 (例: URN:complextype name)、および
- データ型に基づく参照 (例: ISO 8601: 2000 日付/時刻/文字データ類型化、次にレガシーデータ類型化)。

ebXML のコンポーネントは、多言語サポートを助長しなければならない。ここでは、言語中立参照メカニズムを提供する UID リファレンスが特に重要である。多言語サポートを可能にするため、ebXML 仕様は、文字セットについては Unicode と ISO/IEC 10646、文字符号化については UTF-8 か UTF-16 に従うこと。

8.4.3 インタフェース

ebXMLメッセージ取扱：

レジストリアクセスメカニズムで用いる問合せ構文は、バックエンドシステムの物理的実装から独立する。

レジストリに着信する通信とレジストリから発信する通信のすべてについて、ebXMLメッセージ取扱サービスは、転送メカニズムとして機能する。

ビジネスプロセス：

ビジネスプロセスは、ebXMLレジストリサービスを介して公開され、検索される。

コア構成要素：

コア構成要素は、ebXMLレジストリサービスを介して公開され、検索される。

メタデータをともなう項目：XML要素は、ebXMLレジストリサービスを通じて管理される項目について標準のメタデータを提供する。ebXMLレジストリは分散しているため、ebXMLレジストリとebXMLレジストリの間では相互作用や相互参照が発生する可能性がある。

8.4.4 非規範的実装詳細

レジストリの中では、多様な分類体系に従ってビジネスプロセス・情報メタモデルが蓄積される場合がある。

ebXMLレジストリ実装のためのモデルを用意するため、レジストリ実装に関する既存ISO11179/3作業を使用する場合がある。

レジストリ項目とそのメタデータは、直接アクセスには専らHTTPを使用し、XMLに基づくURIリファレンスで場所を特定する。

拡張レジストリサービス機能の例は、今後のebXMLイニシアティブの段階に委ねる。これは、変換サービス、ワークフローサービス、品質保証サービス、拡張セキュリティメカニズムなどを含むが、前記に限定されるわけではない。

レジストリインタフェースがebXMLに従う限り、レジストリサービスは複数の配置モデルを持つ必要がある。

ebXMLレジストリサービスのビジネスプロセスと情報メタモデルは、ビジネス情

報の蓄積・検索に向けて特別に調整された、既存 OASIS レジストリ/リポジトリ技術仕様の拡張になるかもしれない。その場合、OASIS モデルは、拡張・包括的情報内容を調整可能なスーパーセットである。

0

8.5 メッセージ取扱サービス機能

8.5.1 はじめに

ebXML メッセージサービスメカニズムは、ebXML 取引参加者間のビジネスメッセージ交換のための標準的手段を提供する。ebXML メッセージ取扱サービスは、独占的なテクノロジーやソリューションに頼らない、信頼性のあるビジネスメッセージ交換手段を提供する。ebXML メッセージは、メッセージヘッダ（ルーティングの配送に必要）と搬送内容セクションのための構造を持つ。

図 15 に示すように、ebXML メッセージ取扱サービスは、概念上は 3 つの部分、すなわち (1) 抽象的サービスインタフェース (2) メッセージ取扱サービスレイヤから提供される機能 (3) 抽象的インタフェースとメッセージ取扱サービスレイヤと転送サービスとの関係に、分割される。

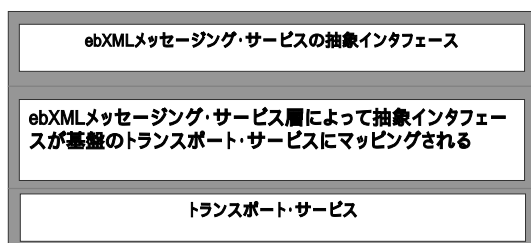


図 15 - ebXML メッセージ取扱サービス

図 16 は、ebXML メッセージ取扱サービスアーキテクチャの中に存在する機能モジュールの論理的配置を描いている。これらのモジュールは、それぞれの相互関係と依存関係とを示す形に配置されている。このアーキテクチャ図には ebXML メッセージ取扱サービスの柔軟性が現れており、ebXML システムで実装可能な多彩なサービスと機能性を反映している。

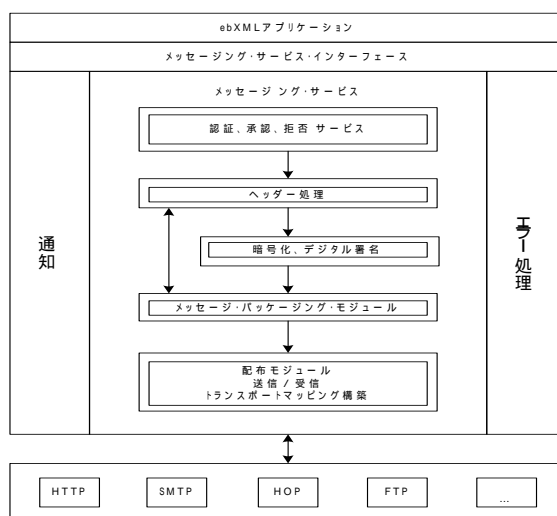


図 16 - メッセージ取扱サービスアーキテクチャ

8.5.2 正式機能

ebXML メッセージ取扱サービスは、多様な転送プロトコル（例えば SMTP、HTTP/S、FTP、その他を含む）にまたがって ebXML 基盤のユーザ間で ebXML メッセージを交換するための安全で、一貫性があり、信頼できるメカニズムを提供する。

ebXML メッセージ取扱サービスは、レジストリや ebXML 準拠のユーザアプリケーションを含む分散型 ebXML コンポーネント間でやり取りされるあらゆるメッセージについての形式を規定する。

ebXML メッセージ取扱サービスは、搬送内容の制限を設けない。

ebXML メッセージ取扱サービスは、単信方式（片方向）のメッセージ交換と要求/応答（同期または非同期のいずれか）のメッセージ交換をサポートする。

ebXML メッセージ取扱サービスは、取引参加者間で複数の搬送内容やメッセージが交換される状況で、搬送内容の順序付けをサポートする。

ebXML メッセージ取扱サービスレイヤは、コラボレーションプロトコル合意書の中で2者の取引参加者によって定義される"契約の規則"を施行する（セキュリティやメッセージ配送に関するビジネスプロセス機能を含むが、前記に限定されない）。コラボレーションプロトコル合意書は、各取引参加者が従うことに同意する容認される振舞いを定義するものである。公式コラボレーションプロトコル合意書、取引業務が行われるときに確立される対話的合意（例えば、オンライン書籍購入）、その他の合意形式など、基本原則の定義は数多くの形をとる。メッセージ取扱サービスレイヤには、これらの基本原則を施行するための機能がある。基本原則の違反はエラー状態を招き、エラー状態は適切な手段を用いて報告される。

ebXML メッセージ取り扱いサービスは、以下を含む、あらゆるセキュリティ関係機能を遂行する。

- 識別
- 認証（身元の立証）
- 承認（アクセス制御）
- プライバシー（暗号化）
- 完全性（メッセージ署名）
- 不否認
- ログ

8.5.3 インタフェース

ebXML メッセージ取扱サービスは、ebXML に抽象的インタフェースを提供し、抽象的レベルでのインタフェースの機能は以下を含む。

- 送信 - ebXML メッセージを送信する - パラメータの値は、ebXML メッセージヘッダから導き出される。
- 受信 - ebXML メッセージを受け取る意向を示す。
- 通知 - 予期するイベントと予期せぬイベントの通知を提供する。

- 問合せ - 特定の ebXML メッセージ交換の状態を問い合わせるための手段を提供する。

ebXML メッセージ取扱サービスは、以下を含む、上部システムとのインターフェースを用意している：

- 上部システムへの受信メッセージ規則
- エラー通知

ebXML メッセージ取扱サービスは、ebXML レジストリとのインタフェースを促進する。

8.5.4 非規範的実装詳細

ebXML メッセージの構造とパッケージング

図 17 は、ebXML メッセージの論理的構造を図示している。

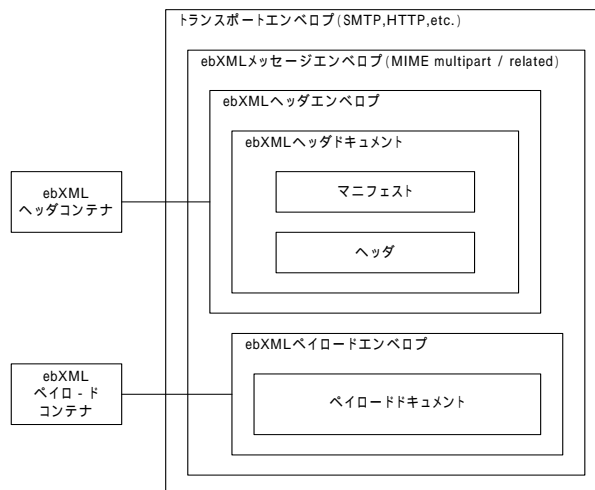


図17 - ebXML メッセージ構造

ebXML メッセージは、オプションの転送プロトコルに特有の外側の通信プロトコルエンベロープと、プロトコルから独立した ebXML メッセージエンベロープ

からなる。ebXML メッセージエンベロープは、MIME マルチパート/関係内容型を使ってパッケージされる。電子ビジネス環境において参加者間で交換される情報の多様性のため、パッケージングソリューションとしてはMIMEを使用する。例えば、複数取引参加者間の複雑な取引業務には、取引文書（XMLその他の文書形式）やバイナリ画像や関係ビジネス情報の配列を内包する搬送内容が必要になるかもしれない。

9. 適合性

9.1 はじめに

本節では、ebXML への適合性について、一般的フレームワークとコンセプトと規準を明記する。ebXML 適合戦略の概要、ebXML 技術仕様で適合性に取り組むための案内、本テクニカルアーキテクチャ仕様に特有の適合性条項などを含む。本テクニカルアーキテクチャ仕様を除き、本節では、ebXML 技術仕様に対する適合性要件を定義しない。適合性要件は技術仕様の範囲である。

本節の目的：

- a) 適合性と、この仕様系列への適合性を主張するための条件について、共通の理解を得る。
- b) コンポーネント仕様のそれぞれで適合性が矛盾なく取り組まれることを保証する。
- c) ビジネスプロセスおよびメッセージの相互運用性と開放的相互交換を促進する。
- d) 適用される適合性テストの使用を奨励し、適合性テスト開発の整合性を促進する。

ebXML への適合性とは、ebXML 基盤への適合と、ebXML 技術仕様への適合を意味する。その第1の目的は、実装間の良い相互運用性と、XML ビジネス文書・メッセージの開放的相互交換の可能性を高めることだ。実装が ebXML 仕様の要件に適合すれば、良い相互運用性と開放的相互交換を達成する見込みがさらに高まる。

9.2 ebXML への適合性

ebXML 適合とは、ebXML 基盤のあらゆるアーキテクチャコンポーネントを具備し、少なくとも各 ebXML 技術仕様の最低限の適合性要件（本技術アーキテクチャ仕様に含まれる機能・インタフェース要件を含む）を満たす、ebXML システムへの適合を意味する。

ebXML のコンテキストの中では、適用 ebXML 技術仕様の要件に準拠する実装には適合性があるという。適合性の要件は、ebXML 技術仕様の適合性条項で明言される。適合性条項には、仕様への適合性を主張するうえで満たさなければならない要件のすべてが明記される。これらの要件は、各仕様の中で適用され、種々のレベルに分類され得る。

9.3 本技術アーキテクチャ仕様への適合性

この節では、本テクニカルアーキテクチャ仕様への適合性を主張するための適合性要件を詳述する。

本仕様に適合するため、各 ebXML 技術仕様は：

- a) 本仕様の中で定義される、当該技術仕様に適用される機能要件とインタフェース要件のすべてをサポートすること、
- b) ebXML やそのコンポーネントと衝突したり不適合を引き起こす要件は指定しないこと、
- c) 本仕様の要件よりも具体的で範疇を絞った要件を加える適合性事項を含み得る、
- d) テスト可能な要件だけを含むこと。

適合する実装は、本仕様と該当技術仕様の適用部分の適合性要件を満たす必要がある。

9.4 適合性テストの共通のフレームワーク

適合性テストの目的は、テスト対象の実装が、関係 ebXML 仕様の中で述べられた要件に適合するかどうかを判断することである。適合性テストによって、ベンダーは、ebXML の基礎の上で、互換性があり相互運用可能なシステムを実装できる。テスト集が入手可能となったら直ちに、そのテスト集を使って ebXML の実装とアプリケーションをテストし、ebXML 仕様への適合性を確認すべきである。

ebXML適合を主張するebXML実装、アプリケーション、およびコンポーネントの適合性を確認するには、OASISやNISTなど、ベンダー中立組織から公に入手可能なテスト集を使用すべきである。インタフェースの互換性、適合性、相互運用性などについてベンダーが製品をテストできるようにするため、オープンソースの規準実装を使用する場合がある。

10.0 セキュリティについての配慮

10.1 はじめに

ebXMLの包括的セキュリティモデルは今後、別の文書の中で明らかにされる。そのセキュリティモデルは、ebXMLユーザーのニーズを万全に満たすことを基本目標とし、全ebXML基盤に適用される。

同セキュリティモデルは今後、ebXML要件文書の中で明記されるセキュリティニーズを満たす。

免責

本書の記述内容は各著者の個人的な見解 / 仕様であり、所属企業の従業員の見解 / 仕様と必ずしも一致するとは限らない。本書の記述を使用した結果 (使用法が正しいかどうかの如何を問わない) 不都合が生じたとしても、著者および所属企業の従業員は一切、責任を負うものではない。

Copyright Statement

Copyright © ebXML 2001. All Rights Reserved.

This document and translations of it MAY be copied and furnished to others, and derivative works that comment on or otherwise explain it or assist in its implementation MAY be prepared, copied, published and distributed, in whole or in part, without restriction of any kind, provided that the above copyright notice and this paragraph are included on all such copies and derivative works. However, this document itself MAY

not be modified in any way, such as by removing the copyright notice or references to ebXML, UN/CEFACT, or OASIS, except as required to translate it into languages other than English.

The limited permissions granted above are perpetual and will not be revoked by ebXML or its successors or assigns.

This document and the information contained herein is provided on an "AS IS" basis and ebXML DISCLAIMS ALL WARRANTIES, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO ANY WARRANTY THAT THE USE OF THE INFORMATION HEREIN WILL NOT INFRINGE ANY RIGHTS OR ANY IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

付録 A : ebXML ビジネスシナリオの例

定義

この一連のシナリオは、ebXML 準拠のソフトウェアを使って一般的な、周知の電子ビジネスモデルを実装する過程を明らかにする。

範囲

これらのシナリオは、企業がオープンな規格を用いてインターネット上で電子ビジネスを適宜実行するための便利な手段として ebXML 仕様を正しく位置付けることを意図している。これらのシナリオは、仕様と現実世界での運用との橋渡しとなる。

対象読者

これらのシナリオは、企業が一般的な業務シナリオを ebXML 仕様に沿って実装する方法を紹介するものであり、ebXML 準拠のソフトウェアの使用を計画する企業にとって有益である。

リスト

- a) 2 取引参加者が合意を結び、関連する電子交換を実行する。
- b) 3 以上の取引参加者がサプライチェーンを実装するビジネスプロセスを準備し、関連する交換を実行する。
- c) ある会社が、外部の取引サービスを利用するビジネスプロセスを定義するポータルを設立する。
- d) 3 以上の取引参加者が共同ビジネスプロセスを用いて業務を実施し、関連する交換を実行する。

シナリオ 1 : 2 者の取引参加者が合意を結び、電子取引を実行する。

このシナリオでは：

- 各取引参加者が自身のプロファイル (CPP) を定義する。
各プロファイルでは：
 - ebXML レジストリの中にある 1 つまたは複数の既存ビジネスプロセスを参照する
 - 1 つまたは複数のメッセージ定義を参照する。各メッセージ定義は、ebXML レジストリの中にある再利用可能コンポーネント (コア構成要素) から作られる
- 各プロファイル (CPP) では：
 - 取引参加者が従事できる取引業務を定義する

- 取引参加者がその業務の中でサポートする技術プロトコル（HTTP、SMTP、その他）と技術プロパティ（特別な暗号化、確認、認証など）を定義する
 - 取引参加者は互いのプロファイルを承認し、CPA を作成する。
 - 取引参加者はプロファイルの該当部分を実装する。これは：
 - 取引サービスインタフェースを作成/構成することによって実現する。
 - または、自分たちのレガシーソフトウェアを適宜改良することによって実現する。
- 上記のいずれの場合でも、このステップでは：
- メッセージ取扱サービスで指定されるとおりにレガシーを ebXML 技術基盤に組み入れる。
 - ソフトウェアが既述の対話に正しく従事できることを確認する
 - 交換が、取り決められたメッセージ定義に意味論的に整合することを確認する
 - 交換が、基礎 ebXML メッセージ取扱サービスに技術的に整合することを確認する
- 取引参加者は、メッセージ交換と合意された商取引を開始する。

シナリオ 2 : 3 者以上の取引参加者がサプライチェーンを実装するビ

ジネスプロセスを準備し、取引を実行する

2 取引参加者が関与するサプライチェーンの簡単な事例は、シナリオ 1 を規準にして再定義できる。

ここでは、より多くの取引参加者が関わる状況に取り組む。以下のタイプのサプライチェーンを検討しよう。



シナリオ 1 と根本的に異なる点は、2 つの取引参加者と同時に"取引参加者 2"が従事することにある。ビジネスプロセスのローカルな部分の"事情"は各取引参加

者によって処理される、すなわち各取引参加者は、それぞれが関与する取引業務について全面的に責任を持つと仮定する（"取引参加者3"は"取引参加者2"だけを知り、"取引参加者2"は"取引参加者3"と"取引参加者1"を知り、"取引参加者1"は"取引参加者2"を知り）。

このシナリオでは：

- 各取引参加者が自身のプロフィール（CPP）を定義する。各プロフィール（CPP）では：
 - ebXML レジストリの中にある 1 つまたは複数の既存ビジネスプロセスを参照する
 - 1 つまたは複数のメッセージ定義を参照する。各メッセージ定義は、ebXML レジストリの中にある再利用可能コンポーネント（コア構成要素）から作られる

各プロフィール（CPP）では：

- 取引参加者が従事できる商取引を定義する。
"取引参加者2"は、少なくとも 2 つの商取引をサポートできなければならない。
- 取引参加者がその業務の中でサポートする技術プロトコル（HTTP、SMTP、その他）と技術プロパティ（特別な暗号化、確認、認証など）を定義する。"取引参加者2"にとって、"取引参加者1"との交換と"取引参加者3"との交換とでは、技術的要件が異なるかもしれない。その場合、"取引参加者2"は別々のプロトコル/プロパティをサポートできなければならない。
- 取引参加者は互いのプロフィールを承認し、CPA を作成する。
- "取引参加者2"は 2 つの CPA に従事する
- 取引参加者はプロフィールの該当部分を実装する。これは：
 - 取引サービスインタフェースを作成/構成することによって実現する。
 - または、自分たちのレガシーソフトウェアを適宜改良することによって実現する。

上記のいずれの場合でも、このステップでは：

- メッセージ取扱サービスで指定されるとおりにレガシーを ebXML 技術基盤に組み入れる。
- ソフトウェアが既述の対話に正しく従事できることを確認する
- 交換が、取り決められたメッセージ定義に意味論的に整合することを確認する

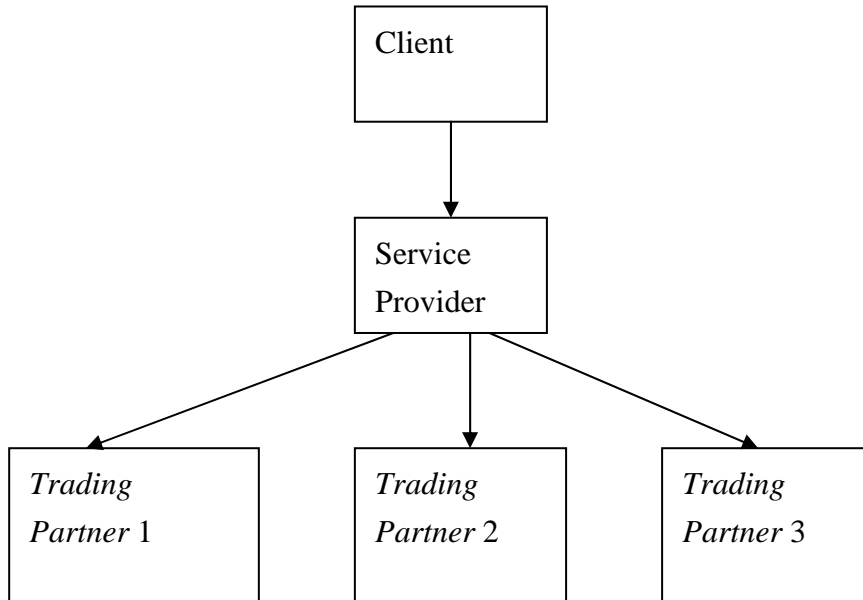
- 交換が、基礎 ebXML メッセージ取扱サービスに技術的に整合することを確認する。
- "取引参加者2"は、異なる取引参加者を相手に仕事をするため、複雑な取引サービスインタフェースを実装する必要があるかもしれない。
- 取引参加者は、メッセージ交換と取り決められた商取引を開始する。
 - "取引参加者3"は"取引参加者2"に発注する
 - (その結果)"取引参加者2"は"取引参加者1"を相手に発注する
 - "取引参加者1"が注文を履行する
 - "取引参加者2"が注文を履行する

シナリオ3：ある会社が、外部の取引サービスを利用するビジネス

プロセスを定義するポータルを設立する

これは、サービス業者を描くシナリオである。"依頼人"は、サービス業者にサービスを依頼する。サービス業者は、別の取引参加者との交換をうまく処理することによってその依頼を履行し、当該取引参加者は最終的的回答を作るための情報を提供する。

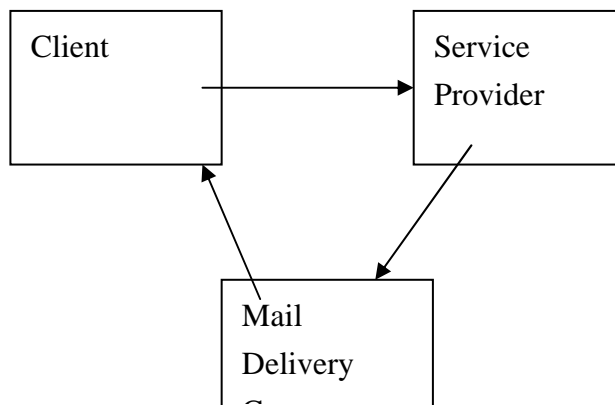
最も端的な事例で、このシナリオは以下のとおりにモデル化できる。



これはシナリオ 2 を発展させたものである。このシナリオの説明は省略する。

シナリオ 4 : 3 者以上の取引参加者が共同ビジネスプロセスを使用した業務取引を実行する

これは、複雑な関係を有する 3 つ以上の取引参加者に関するシナリオである。物資の配達にあたって外部の配達サービスを利用することは、その一例である。



このシナリオでは、各取引参加者が複数の取引参加者との間に関係を持つが、その関係は直線的でない。依頼人がサービス業者を相手に注文する製品や物資は、第三者によって配達される。

このシナリオでは：

- 各取引参加者が自身のプロファイル（CPP）を定義する。各プロファイル（CPP）では：
 - ebXML レジストリの中にある 1 つまたは複数の既存ビジネスプロセスを参照する
 - 1 つまたは複数のレジストリ定義を参照する。各レジストリ定義は、ebXML レジストリの中にある再利用可能コンポーネント（コア構成要素）から作られる

各プロファイル（CPP）では：

- 取引参加者が従事できる商取引を定義する。
この場合、各取引参加者は少なくとも 2 つの商取引をサポートできなければならない。
- 取引参加者がその業務の中でサポートする技術プロトコル（HTTP、SMTP、その他）と技術プロパティ（特別な暗号化、確認、認証など）を定義する。
種々の交換の基礎となる技術基盤が異なる場合は、各取引参加者が異なるプロトコル/プロパティをサポートできなければならない（たとえば、注文は Web サイトを通じて行われ、配達は eメールの形で行われる）。
- 取引参加者は互いのプロファイルを承認し、CPA を作成する。このシナリオの取引参加者はそれぞれ、少なくとも 2 つの協定を取り決めなければならない。

各取引参加者は、2 つの協定（CPA）の中で従事する。

- 取引参加者はプロファイルの該当部分を実装する。これは：
 - 取引サービスインタフェースを作成/構成することによって実現する。

- または、自分たちのレガシーソフトウェアを適宜改良することによって実現する。
- 上記のいずれの場合でも、このステップでは：
- メッセージ取扱サービスで指定されるとおりにレガシーを ebXML 技術基盤に組み入れる。
 - ソフトウェアが既述の対話に正しく従事できることを確認する
 - 交換が、取り決められたメッセージ定義に意味論的に整合することを確認する
 - 交換が、基礎 ebXML メッセージ取扱サービスに技術的に整合することを確認する
 - すべての取引参加者は、相手が異なることによって生じる CPA の違いに適応するため、複雑な取引サービスインタフェースを実装する必要があるかもしれない。
- 取引参加者は、メッセージ交換と取り決められた商取引を開始する。
 - 依頼人は、サービス業者に発注する。
 - サービス業者は、依頼人との注文を承認する。
 - サービス業者は、物資を依頼人に配達する旨を郵便配達サービスに伝える
 - 郵便配達サービスは、その物資を依頼人に配達する
 - 依頼人は、物資の受け取りをサービス業者に伝える。

著作権について

Copyright © UN/CEFACT and OASIS, 2001. All Rights Reserved

本書および本書の翻訳版は、上記の著作権通知およびこの段落を含めることを要件とし、自由にその一部または全部をコピーして配布したり、その解説や実施を支援する説明の作成、コピー、刊行、配布などを行ったりしてよい。ただし、英語以外の言語に翻訳する際に必要な場合を除き、著作権通知や ebXML、UN/CEFACT、OASIS などへの参照を取り除くなど、本書自体を変更することは一切してはならない。

上述の制約付き許可は永続的なものであり、ebXML やその継承者や譲受者によって破棄されることはない。

本書および本書に含まれる情報は「無保証」で提供されており、ebXML は、明示、暗示の別を問わず、いかなる保証もしない。これには、本書の情報の使用

が他の権利を侵害しないこと、暗示される商品性の保証、特定の目的の適合性などが含まれるが、これらに限定されない。

Copyright Statement

Copyright © ebXML 2001. All Rights Reserved.

This document and translations of it may be copied and furnished to others, and derivative works that comment on or otherwise explain it or assist in its implementation may be prepared, copied, published and distributed, in whole or in part, without restriction of any kind, provided that the above copyright notice and this paragraph are included on all such copies and derivative works. However, this document itself may not be modified in any way, such as by removing the copyright notice or references to ebXML, UN/CEFACT, or OASIS, except as required to translate it into languages other than English.

The limited permissions granted above are perpetual and will not be revoked by ebXML or its successors or assigns. This document and the information contained herein is provided on an "AS IS" basis and ebXML **DISCLAIMS ALL WARRANTIES, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO ANY WARRANTY THAT THE USE OF THE INFORMATION HEREIN WILL NOT INFRINGE ANY RIGHTS OR ANY IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.**

ebXML 用語集

TERM	日本語	ACRONYM	DEFINITION	日本語定義	解説
Abstract Class	抽象クラス		A class that cannot be directly instantiated.	インスタンスを直接生成することのできないクラス。	
Abstract Syntax	抽象構文		UML class diagrams are used to present the UML metamodel, its concepts (metaclasses), relationships, and constraints. Definitions of the concepts are included.	UML クラス図は、UML メタモデル、その概念(メタクラス)、関係、および制約条件を記述するために使用される。その概念の定義を内包する。	
Abstraction	抽象概念		The essential characteristics of an entity that distinguish it from all other kinds of entities.	あるエンティティを別の種類のエンティティと区別する本質的な特質。	抽象化、あるいは抽象化したもの。実体を他のあらゆる種類の実体と区別する特別な形態。
Activity Class	活性クラス		A class whose instances are active objects.	そのクラスに属するインスタンスが活性オブジェクトであるクラス。	インスタンスにアクティブ・オブジェクトを持つクラス。
Activity Graph	アクティビティ図		Shows behaviour with control structure. Can show many objects over many uses, many objects in single use case, or implementation of method. Encourages parallel behaviour.	制御構造を用いて振舞い(動作)図示するもの。多数のオブジェクトを多数の用例について表すことが可能である一方、多数のオブジェクトを1つのユースケースについて表すことやメソッドの実装を表すことも可能である。並行的な動作の記述が容易である。	アクティビティからアクティビティへのフローを図式化したもの。アクティビティ図ではシステムの動的なビューを扱う。
Actor	アクター		Someone or something, outside the system or business that interacts with the system or business.	システムまたは業務とやり取りを行う、当該システムまたは業務の外部にいる個人、あるいは事物。	システムまたは業務とやり取りを行う、システムまたはシステムの外部に存在する他システムやデータベースのような実体を果たすことの出来る役割を担ったもの。
Aggregate [Class]	集約化 [集約クラス]		A class that represents the "whole" in an aggregation (whole-part) relationship.	ある集合(全体-部分)関係における“全体”を表すクラス。	
Aggregate Business Information Entity	集約ビジネス情報エンティティ	ABIE	A collection of related pieces of business information that together convey a distinct business meaning in a specified business context.	関連するビジネスの断片情報を集約したもので、特定のビジネスコンテキストの中で固有のビジネス上の意味を持つ。	UMM では、Business Information Entity (ビジネス情報エンティティ) と呼ぶ。

Aggregate Core Component	集約コア構成要素	ACC	A collection of pieces of business information that together form a single business concept (e.g. postal address). Each Aggregate Core Component has its own unique business semantic definition and can contain either: <ul style="list-style-type: none"> · two or more Basic Core Components, or · at least one Basic Core Component plus one or more Aggregate Core Components 	関連するビジネスの断片情報を集約したもので単一のビジネス概念を表す（例：住所）。それぞれの集約コア構成要素は固有のビジネス意味情報定義を持ち、2つ以上の基本コア構成要素、または 少なくとも1つ以上の基本コア構成要素と1つ以上の集約コア構成要素から構成される。	
Aggregation	集約		A special form of association that specifies a whole-part relationship between the aggregate (whole) and a component part.	集合（全体）と構成要素部分との間に存在する全体-部分関係を規定する特別の結合形態。	関連の特殊な形で、1つ以上の小さいクラスが、大きな「全体」クラスの「部分」である場合における「全体/部分」関係。
Agreement	合意		An arrangement between two partner types that specifies in advance the conditions under which they will trade (terms of shipment, terms of payment, collaboration protocols, etc.) An agreement does not imply specific economic commitments.	取引を進めるにあたり、あらかじめその実施条件（出荷条件、支払い条件、コラボレーションプロトコルなど）を規定する当事者間での取り決め。合意は、特定の取引約定を意味するものではない。	
Analysis	分析		The part of the software development process whose primary purpose is to formulate a model of the problem area. Analysis focuses on what to do, design focuses on how to do it.	ソフトウェア開発工程の一部で、問題とされている分野のモデルを定式化することを主目的とする部分。分析 (Analysis) では何を行うかに着目し、設計 (Design) ではその実現方法に着目する。	ソフトウェア開発プロセスで、システムでシステム化範囲を決定することも含めて、何を作成するかを決定すること。

Analysis Class	分析クラス		An abstraction of a role played by a design element in the system, typically within the context of a use-case realization. Analysis classes may provide an abstraction for several roles, representing the common behaviour of those roles. Analysis classes typically evolve into one or more design elements (e.g. design classes and/or capsules, or design subsystems).	システム内の一つの設計構成要素が、典型的にはユースケースのコンテキストにおいて、担う役割の抽象概念。分析クラスは、幾つかの役割の共通的な振舞いを表すことにより、それらの役割に対する一つの抽象概念を提供することができる。分析クラスは、典型的には、一つ、あるいは複数の設計構成要素（つまり、設計クラス、カプセル、あるいは設計サブシステム）に進化する。	1つまたは複数のクラスの概念や、システム設計中のサブシステムの抽象概念を示す。RUPでは、二つ以上のロバストネス図上で表現された、ステレオタイプ化されたクラスを表す。また、分析クラスで <<boundary>>,<<control>>,<<entity>>の3つのステレオタイプのいずれかが当てはまる。
Application	アプリケーション		An Application is software that may implement a Service by processing one or more of the Messages in the Document Exchanges associated with the Service.	アプリケーションとはサービスに伴う文書交換において、一つ、あるいは複数のメッセージを処理することにより、そのサービスを実現するソフトウェア。	
Application Protocol Interface	アプリケーションプロトコルインタフェース	API			
Architecture	アーキテクチャ		The architecture of a software system (at a given point in time) is its organization or structure of significant components interacting through interfaces	ソフトウェアシステムのアーキテクチャーとは(所定の時点において)、インタフェースを介してやりとりするソフトウェアシステムの主要な構成要素の組織構成、あるいは構造。	システム全体の基礎となる組織。アーキテクチャには、静的要素、動的要素の2つの側面があり、その2つの要素が協調的に動作する方法やシステムの組織を導き出す。また、アーキテクチャはその使い方、機能、パフォーマンス、柔軟性、再利用などの構成・構造的な側面に加えて、経済的な面も考慮される。
Artifact	生成物		(1) A piece of information that (1) is produced, modified, or used by a process, (2) defines an area of responsibility, and (3) is subject to version control. An artifact can be a model, a model element, or a document. A document can enclose	以下の条件をすべて満たすひとまとまりの情報。 1) あるプロセスによって作成、変更、あるいは使用される。 2) ある責任範囲が定義されている。 3) バージョン管理が行われる。	

			other documents.	生成物はモデル、モデル構成要素、または文書の形態を取る。一つの文書は他の文書を包含することが出来る。	
Association	関連		The semantic relationship between two or more classifiers that specifies connections among their instances.	インスタンスの間に接続を指定する2つ以上の分類要素(classifiers)間に存在する意味的な関係。	対象システムを構成するインスタンス(クラス)間(概念・実体・事象)とそれらの間に存在する意味的・物理的な関係。
Attributes	属性		An attribute defined by a class represents a named property of the class or its objects. An attribute has a type that defines the type of its instances.	クラス、あるいはそのオブジェクトの名前付特性。属性は、そのインスタンスの型を定義する型を持つ。	クラスやオブジェクトの特質。 例：「従業員」クラスであれば「属性」は、「従業員番号、氏名、生年月日、年齢、性別、入社年月日…」などが上げられる。 なお、XML文書ではエレメントの属性を表す。
Authentication	認証			本人であることの証明。	
Authorisation	承認		A right or a permission that is granted to a system entity to access a system resource.	当該システムの利用者或いは他のシステムが当該システム資源にアクセスするために付与されている権限、あるいは許可。	
Authorisation Process	承認プロセス		A procedure for granting authorisation	承認を付与する手順。	
Basic Core Component	基本コア構成要素	BCC	A Core Component that represents a singular business concept with a unique business semantic definition. A BCC is constructed by using a Core Component Type. BCCs are used in developing Aggregate Core Components.	コア構成要素は、唯一のビジネス情報定義を持った、単一ビジネス概念を表す。基本コア構成要素はコア構成要素タイプで構成される。基本コア構成要素は、集約コア構成要素を作るときに使用される。	
Basic Business Information Entity	基本ビジネス情報エンティティ	BBIE	A core component used in a specific business context. A Basic Business Information Entity is derived from a Basic Core Component.	特定のビジネスコンテキストの中で使われるコア構成要素。基本ビジネス情報エンティティは基本コア構成要素から派生する。	UMMでは、Fundamental Information Entity (基礎情報エンティティ)と呼ぶ。
Behaviour	振舞い		The observable effects of an operation or event, including its results.	観測可能な、操作やイベント(その結果を含む)の効果。	クラスやオブジェクトに対する「アクション」や「操作」に相当する部分。実装のクラスにおいては「メソッド」に相当する。
Boundary Classes	境界クラス		A Boundary is a class that lies on the periphery of a	境界とはシステムの外縁部に位置するが、システム内	システムを取り巻く環境(具体的にはアクターなど)

			system, but within it. It interacts with actors outside the system as well as objects of all three kinds of analysis classes within the system.	部に属するクラス。境界クラスはシステム内部の三種類すべての分析クラス及びシステム外のアクターとやりとりを行う。	とシステム内部の処理との間を管理するクラス。その例としてはユーザインタフェースとなる画面や、外部システムとのインタフェースとなる通信プロトコルなどが挙げられる。
Business	ビジネス		A series of processes, each having a clearly understood purpose, involving more than one organization, realized through the exchange of information and directed towards some mutually agreed upon goal, extending over a period of time.	相互に合意した目標に向けて所定の期間に渡る情報交換を通じて実現される、複数の組織が関与し、個々のプロセスが明確な目的を持つ一連のプロセス。	
Business Activity	業務アクティビティ		A business activity is used to represent the state of the business process of one of the partners.	当事者のいずれか一方のビジネスプロセスの状態 (ebXML ビジネスプロセス仕様における定義)	
Business Collaboration	取引コラボレーション		An activity conducted between two or more parties for the purpose of achieving a specified outcome.	複数の当事者間で、特定の成果を目的に進められる活動。	
Business Collaboration Framework	取引コラボレーションフレームワーク	BCF	A collection of specifications defining electronic business exchange for two or more business partners.	複数の当事者間での電子取引交換を定義する仕様の集まり。	
Business Collaboration Knowledge	取引コラボレーション知識		The knowledge involved in a collaboration	取引慣行など、ビジネスコラボレーションに関わる知識。	
Business Context	ビジネスコンテキスト		Defines a context in which a business has chosen to employ an information entity	ビジネスにおいてある情報エンティティを採用するために選択したコンテキスト。	
Business Document	取引文書		The set of information components that are interchanged as part of a business activity.	取引活動の一環として交換される情報構成要素の集合。	

Business Entity	ビジネスエンティティ		Something that is accessed, inspected, manipulated, produced, and worked on in the business.	取引または業務において、アクセス、検査、操作、生成及び作用のモデル化の対象となるもの。	ビジネスの「取引」「業務」「事業」に関する側面を抽象化したもので捉えて一定の抽象レベルで表したものの。例：「請求書」「受注」など…
Business Entity Class	ビジネスエンティティクラス		Group of items which are structured in the same way- that serves the fundamental missions of the company,- that has legal and/or business basis,- which may participate in exchanges with partners,- which will be implemented into objects (object technology) through a modelling process. For example order is a business entity class.	以下の条件を満たす、同じ方法で構造化された項目の集まり。(1)企業活動の基本的な役割を果たす。(2)法的または業務上の根拠を持つ。(3)取引相手とのやり取りに係わる。(4)モデル作成プロセスを通じて、オブジェクトに実装される。たとえば「注文」は、ビジネスエンティティクラスの1つである。	
Business Expert	業務専門家		A person who is knowledgeable about the business area being modelled.	モデル作成の対象となる業務に精通している人。	
Business Information Entity	ビジネス情報エンティティ	BIE	When a Core Component is used in a real business situation it is used to define a Business Information Entity. The BIE is the result of using a core construct within a specific business context.	コア構成要素は、ビジネス情報エンティティとして実ビジネスで使われる。ビジネス情報エンティティはコア構成要素に特定のビジネスコンテキストを適用した結果である。	UMMでは Business Information Object (ビジネス情報オブジェクト)と呼ぶ。
Business Information Group	ビジネス情報集合		A set of basic and/or aggregate information entities that convey a single business function.	単一の業務機能を伝える基本情報エンティティ、あるいは集約情報エンティティの集まり	
Business Library	ビジネスライブラリ		A repository of business process specifications and business information objects within an industry, and of common business process specifications and common business information objects that are shared by multiple industries.	ある業界内におけるビジネスプロセス仕様とビジネス情報オブジェクトの保管庫、および複数の業界で共用される共通ビジネスプロセス仕様と共通ビジネス情報オブジェクトの保管庫。	

Business Object	ビジネスオブジェクト		The term business object is used in two distinct but related ways, with slightly different meanings for each usage: In a business model, business objects describe a business itself, and its business context. The business objects capture business concepts and express an abstract view of the business's "real world". The term "modeling business object" is used to designate this usage. In a design for a software system or in program code, business objects reflects how business concepts are represented in software. The abstraction here reflects the transformation of business ideas into a software realization. The term "systems business objects" is used to designate this usage.	ビジネスオブジェクトという用語は二通りの用いられ方があり、若干意味異なるが相互に関連性がある。(1)ビジネスモデルにおいてはビジネスオブジェクトは業務そのもの及びそのコンテキストを記述する。ビジネスオブジェクトはビジネス概念を捉え、その実世界の業務の抽象ビューを表す。ビジネスオブジェクトのモデル作成という言い方は、この用法に該当する。(2)ソフトウェアシステムの設計或いはプログラムコードにおいては、ビジネスオブジェクトはビジネス概念をどのようにソフトウェア上で実現しているかを表している。つまり業務上のアイデアをソフトウェアへ変換して実現することを意味している。システムビジネスオブジェクトといえばこの用法を意味する。	そのビジネスに本質的に必要な事物・概念・プロセスなどを含んだオブジェクト群。そのビジネスの活動に本質的に必要な知識・情報を表現するエンティティオブジェクト、エンティティ群を利用して、意味のあるひとかたまりのビジネス活動を表現するプロセスオブジェクトなどからなる。
Business Operational View	事業運用ビュー	BOV	A perspective of business transactions limited to those aspects regarding the making of business decisions and commitments among organisations, which are needed for the description of a business transaction.	取引トランザクションを記述するのに必要な側面に限定した取引トランザクションの捉え方。すなわち、取引上の決定および企業間で結ばれる契約の側面に限定した捉え方。	
Business Operations Map	ビジネス作業図	BOM	The partitioning of business processes into business areas and business categories; first part of Requirements Workflow	ビジネスプロセスを取引分野や取引部門別に区分すること。要件ワークフロー（工程）の最初の部分である。	
Business Partner	取引当事者		An entity that engages in business transactions with another business partner(s).	他の取引当事者との取引トランザクションに関与する主体。	特定の取引トランザクションに関与している関係者（party）。
Business Process	ビジネスプロセス		The means by which one or more activities are accomplished in operating business practices.	取引慣行の実施にあたって、一つ、あるいは複数の活動を実現するための手段。	

Business Process Interface	ビジネスプロセスインタフェース		The definition of how to interact with one partner role in order to make partner perform a desired service.	当事者に所定のサービスを実行させるにあたり、いかにして当事者の役割と相互に影響しあうかの定義。	
Business Process Specification Schema	ビジネスプロセス仕様スキーマ	BPSS	Defines the necessary set of elements to specify runtime aspects and configuration parameters to drive the partners' systems used in the collaboration.	当事者間の協働において用いるシステムの実行時仕様と構成パラメータを指定するために必要な要素の集合。	
Business Profile	ビジネスプロフィール		Describes a company's ebXML capabilities and constraints, as well as its supported business scenarios.	企業が扱う取引シナリオと、その ebXML 適合性と制約を記述するもの。	
Business Requirements View	取引要件ビュー	BRV	The view of a business process model that captures the requirements of a business collaboration protocol; second part of Requirements Workflow	ビジネスプロセスモデルでの、ビジネスコラボレーションプロトコルの要件を捉える見方。要件ワークフロー（工程）の第2段階。	
Business Rule	取引規則		Rules, regulations and practices for business.	取引に際して用いられる規則、規制、慣行等。	
Business Service Interface	取引サービスインタフェース		An ebXML collaboration that is conducted by two or more parties each using a human or automated business service that interprets the documents and document envelopes transmitted and decides how to (or whether to) respond.	二者、あるいはそれ以上の当事者間で、人手または自動化されたサービスにより、送受信される文書および文書エンベロープを解釈し、どう応答するかを決定するための ebXML コラボレーション。	
Business Service View	取引サービスビュー	BSV	The view of a business process model that specifies the electronic formation of business contracts using an electronic medium; Design Workflow	ビジネスプロセスモデルでの、電子媒体を用いて取引契約の電子的構成過程を指定する見方。設計ワークフロー（工程）に該当する。	
Business Transaction	取引トランザクション		A business transaction is a logical unit of business conducted by two or more parties that generates a computable success or failure state.	成功、あるいは失敗の状態が計算機処理可能な、複数の当事者により遂行される論理的なひとまとまりの取引。（ ebXML ビジネスプロセス仕様での定義）	

Business Transaction View	取引業務ビュー	BTV	The view in a business process model that specifies the contract formation process for various types of business contracts; Analysis Workflow	ビジネスプロセスモデルでの、さまざまな種類の契約に対する契約構成過程を指定する見方。分析ワークフロー（工程）に該当する。	
Certification	証明			登録されていることの証明	
Characteristic	特質			他と比べた場合に、そのものだけに見られる性質。ある情報エンティティの特質（Characteristic）と言う場合、その情報エンティティがもつ一つ以上の特性（Property）から引き出される性格を指す。	
Choreography	振り付け		A declaration of the activities within collaboration and the sequencing rules and dependencies between these activities.	コラボレーションにおけるアクティビティと、その順序規則、およびアクティビティ間の従属性を宣言するもの。	
Class	クラス		A description of a set of objects that share the same attributes, operations, methods, relationships, and semantics.	同一の属性、操作、メソッド、関係、および意味を共有するオブジェクトの集まり。	個々のオブジェクトに共通する性質を定義したもの。クラスはデータ構造(属性リスト)と振る舞い(操作リスト)、そして他のクラスとの関係を持つ。また、クラスは個々のオブジェクトの「型(テンプレート)」に相当する。
Class Diagram	クラス図		A graphical representation that shows static structure of concepts, types, and classes. Concepts show how users think about the world; types show interfaces of software components; classes show implementation of software components.	概念、タイプ、およびクラスの静的な構造を図示するもの。概念はユーザが世界をどのように捉えているかを示し、タイプはソフトウェアコンポーネントのインタフェースを示し、クラスはソフトウェアコンポーネントの実装を示す (UML Distilled より)。クラス図は、クラス、タイプ、それらの内容および相互関係など、静的モデル要素の集まりを示す (Rational Unified Process より)。	クラスやタイプの内容と関係・関連などを図式化したもの。クラス図ではシステムの静的なビューを扱う。

Code	コード		A character string (letters, figures or symbols) that for brevity and / or language independency may be used to represent or replace a definitive value or text of an attribute.	簡略化や言語中立性のために、属性の特定の値やテキストを代表する、あるいは代替する文字列（文字、数字、あるいは記号）。	
Collaboration	コラボレーション		Describes a pattern of interaction among objects; it shows the objects participating in the interaction by their links to each other and the messages they send to each other.	オブジェクト間の相互作用のパターンを記述するもの。相互の連携により、相互作用に参加するオブジェクトと、それぞれの相手に送信するメッセージを表わす。	オブジェクトと、それらのオブジェクト間でやり取りされるメッセージが相互作用する様子。
Collaboration Diagram	コラボレーション図		A graphical representation of collaboration.	コラボレーションの図示表現。	コラボレーションを図式化したもの。コラボレーション図では、オブジェクト間やクラス間の接続関係を表現できる。メッセージの順番を表現する為には、メッセージ番号が必要になる。
Collaboration Protocol	コラボレーションプロトコル		The protocol that defines for a Collaborative Process.	コラボレーションプロセス用に定義される手順。	
Collaboration Protocol Agreement	コラボレーションプロトコル合意書	CPA	Information agreed between two (or more) Parties that identifies or describes the specific Collaboration Protocol that they have agreed to use.	二者あるいはそれ以上の当事者が利用することを合意した特定のコラボレーションプロトコルを、識別、あるいは記述するそれらの当事者間での合意情報。	
Collaboration Protocol Profile	コラボレーションプロトコルプロファイル	CPP	Information about a Party that can be used to describe one or more Collaborative Processes and associated Collaborative Protocols that the Party supports.	当事者が扱う一つ、あるいは複数のコラボレーションプロセス、および当事者をサポートするために付随するコラボレーションプロトコルを記述するために利用できる当事者に関する情報。	
Collaborative Process	コラボレーションプロセス		A shared process by which two Parties work together in order to carry out a process.	二人の当事者が一つのプロセスを遂行するために協働するときに用いる共用プロセス。	

Commitment	約定		An obligation to perform an economic event (that is, transfer ownership of a specified quantity of a specified economic resource type) at some future point in time. Order line items are examples of commitments.	将来時点における取引行為（つまり、所定の財貨の所定の量の所有権移転）を履行する義務。発注明細は約定の例。	
Common Business Library	共通ビジネスライブラリ	CBL			
Common Business Process	共通ビジネスプロセス		A business process that is used with reasonable frequency in a business community.	ある業界においてかなりの頻度で利用されるビジネスプロセス。	
Communication Protocol Envelope	通信プロトコルエンベロープ		The outermost envelope of an ebXML Message.	ebXML メッセージの最も外側の、通信手順及び規約を定義するエンベロープ（封筒）。	
Component	コンポーネント		A physical, replaceable part of a system that packages implementation and conforms to and provides the realization of a set of interfaces. A component represents a physical piece of implementation of a system, including software code (source, binary or executable) or equivalents such as scripts or command files.	実装をパッケージ化し、一連のインタフェースに適合、かつそれを実現できるようにする、システムの物理的な交換可能部分。コンポーネントは、システムの実装部分を表すもので、ソフトウェアコード（ソース、バイナリ、あるいは実行可能コード）、または、それと同等のスクリプトやコマンドファイルなどがそれに該当する。	実装をパッケージ化し、インタフェースを介して外部と結合しており、差し替え可能な部品のような役割を果たすことが可能である。また、方法論によっては分析段階からコンポーネンを定義することが可能である。
Component Diagram	コンポーネント図		A diagram that shows the organizations and dependencies among components.	コンポーネント間の組織構成や従属性を表すもの。	インタフェースを介してのコンポーネント間の依存関係を図式化したもの。
Component Interface	コンポーネントインタフェース		A named set of operations that characterize the behaviour of a component.	コンポーネントの動作を特徴付ける、一連の名前付き操作。	コンポーネントと接続され、コンポーネントの動作を特徴付ける、一連の名前付き操作。
Concrete Class	具象クラス		A class that can be directly instantiated.	直接インスタンス化することが可能なクラス	

Conformance	適合性		Fulfilment of a product, process or service of all requirements specified; adherence of an implementation to the requirements of one or more specific standards or technical specifications.	製品、プロセス、あるいはサービスが所定のすべての要件を充足していること。一つ、あるいは複数の特定の標準、あるいは技術仕様に対して実装すること。	
Constraint	制約		A condition or a restriction.	条件または制限。	正しいモデルにするために満たしておかなければならない条件や制限。
Context	コンテキスト		Context is the addition of a semantic layer that describes the business use of an otherwise neutral set of components. When a business process is taking place, the context in which it is taking place can be specified by a set of contextual categories and their associated values.	コンテキストとは、そのままでは中立的で意味が特定できない構成要素に、付加的な意味を与えるレイヤーである。ビジネスプロセスにおいてコンテキストが使用されるときは、コンテキスト分類とその値によって定義される。	
Control Agency	管理機関		Agency responsible for controlling the content of a basic information entity	基本情報エンティティの内容について管理責任を持つ機関。	
Control Class	制御クラス		A class used to model behaviour specific to one, or a several use cases.		処理を制御する役割を担ったクラス。
Core Component	コア構成要素	CC	A building block for the creation of a semantically correct and meaningful information exchange 'parcel'. It contains only the information pieces necessary to describe a specific concept.	構造化され、正しいセマンティック上の意味を持つた、情報交換で使用される情報の塊。	コア構成要素は、CCT（コア構成要素タイプ）、BCC（基本コア構成要素）およびACC（集約コア構成要素）の総称。

Core Component Type	コア構成要素タイプ		This is a Core Component that has no business meaning on its own. For example, date on its own has no business meaning, whereas the date of birth, the contact date, the delivery date do express business meaning. Each Core Component Type contains one Content Component that carries the actual content. It will also contain Supplementary Component(s) that provide essential definition to the content.	それ自体では何ら業務的な意味を持たないコア構成要素。「日付」それ自身はビジネス上の意味を持たないが、「誕生日」、「連絡日」や「配送日」はビジネス上の意味を表す。それぞれのコア構成要素タイプは、実の値を内容として表す。また、その内容を規定するための補助情報も持つことができる。	例えば、「12」だけでは意味を持たないが、キロメートルや円と言う補助情報により「12キロメートル」や「12円」となり、有意な情報となる。
Core Library	コアライブラリ		Contains data and process definitions, including relationships and cross references, as expressed in business terminology that may be tied to accepted industry classification scheme or taxonomy.	関連と相互参照を含む、データ、およびプロセス定義を保有するもので、それを受け入れる業界分類体系、あるいは用語体系に応じたビジネス用語により表現される。	
Data Type	データ型		A type of data to be used to represent the content of an information entity.	情報エンティティの内容を表現するために使用されるデータの型。	
Deliverables	成果物		An output from a process that has a value, material or otherwise, to a customer or other stakeholder.	顧客あるいは他の利害関係者にとって、価値、重要性、あるいは何らかの意味のある、プロセスの出力結果。	
Deployment Diagram	配置図		A diagram that shows the configuration of run-time processing nodes and the components, processes, and objects that live on them. Components represent run-time manifestations of code units. See component diagram.	実行時の処理ノードの構成、およびそのもとで動作するコンポーネント、プロセス、およびおよびオブジェクトを图示するもの。コンポーネントは、コードユニットの実行形式。	コンポーネントがどのノードに割り当てられているかを図式化したもの。

Design	設計		The part of the software development process whose primary purpose is to decide how the system will be implemented. During design, strategic and tactical decisions are made to meet the required functional and quality requirements of a system.	システムの実装方法を決定することを主目的とする、ソフトウェア開発工程の一部。設計工程では、システムの要求機能と品質要件を満たすために戦略的、戦術的意思決定が行われる。	ソフトウェア開発プロセスで、システムをどのように実装するかを決定すること。
Design Patterns	デザインパターン		A specific solution to a particular problem in software design. Design patterns capture solutions that have developed and evolved over time, expressed in a succinct and easily applied form.	ソフトウェア設計上の課題に対する特定の解決策。デザインパターンは時間をかけて開発、改良を続けてきた解決策を捉え、簡潔かつ簡単に適用された形で表現する。	ソフトウェアの設計上での問題を解決する際に用いる典型的な形式。パターンを適応・再利用・応用して利用することで時間を節約し、リスクを軽減できる。
Diagram	ダイアグラム		A graphical depiction of all or part of a model. RUP UML: A graphical presentation of a collection of model elements, most often rendered as a connected graph of arcs (relationships) and vertices (other model elements). UML supports the following diagrams: class diagram, object diagram, use-case diagram, sequence diagram, collaboration diagram, statechart diagram, activity diagram, component diagram, and deployment diagram.	1つのモデルの全体または一部の図示表現。大抵は弧線(関連)と頂点(他のモデル要素)の結合グラフを用いて、モデル要素の集まりを図形表現したもの。UMLでは以下のダイアグラムがサポートされる: クラス図、オブジェクト図、ユースケース図、シーケンス図、コラボレーション図、ステートチャート図、アクティビティ図、コンポーネント図及び配置図。	
Digital Signature	デジタル署名		A digital code that can be attached to an electronically transmitted message that uniquely identifies the sender	電子的に伝送されるメッセージに添付し、送信者を一意に識別することを可能にするデジタルコード。	
Distributed Registry	分散レジストリ		Federation of multiple registries that behaves logically as one registry.	論理的には一つのレジストリとして機能する複数レジストリの連合体。	
Document Type Definition	文書型定義	DTD	Allows different instances of documents of the same type to be automatically processed in a uniform way.	同じタイプの文書の異なるインスタンスを自動的に統一の方法で処理することを可能とするもの。	

Domain	ドメイン		A district or area under someone's control, range of influence.	特定の人や組織により管理され、影響が及ぼされる領域。	互いに関連のある複数のシステムで構成し、共通の特徴を持った知識または活動の1領域。その領域(業界・地域)の構成員の間に共通の理解が得られている考え方や用語によって特徴付けられる。
ebXML Infrastructure	ebXML 基盤		The full complement of technical specifications encompassed within the ebXML framework.	ebXML フレームワークで網羅される技術仕様をすべて提供するもの。	
Economic Contract	取引約定		A subtype of agreement between partner types that some actual economic exchanges will occur in the future.	当事者間で、将来的に財貨の交換が実際に履行される、契約の一種(契約のサブタイプ)。REA(Resource Event Agent)モデル用語。	
Economic Event	取引行為		The transfer of control of an economic resource from one party to another party.	一方の当事者から他方の当事者への取引財貨の支配権の移転。REA(Resource Event Agent)モデル用語。	
Economic Resource	取引財貨		A quantity of something of value that is under the control of an enterprise.	ある企業の支配下にある、ある量の何らかの価値。REA(Resource Event Agent)モデル用語。	
Economic Resource Type	取引財貨タイプ		An economic resource type is the abstract classification or definition of an economic resource.	取引財貨の抽象分類概念、あるいは定義。REA(Resource Event Agent)モデル用語。	
EDI Message	EDI メッセージ		An approved, published, and maintained formal description of how to structure the data required to perform a specific business function, in such a way as to allow for the transfer and handling of this data by electronic means.	特定の取引手続きを実行するために必要なデータを構造化する方法として承認、発行、および維持されている形式記述。データの転送および取り扱いは、電子的な手段を用いて転送、処理する必要がある。	
EDIFACT Messages	EDIFACT メッセージ		A electronic message formats based on UN/EDIFACT standard set developed and maintained by the UN/EDIFACT Working Group which are in UN/TDID directories.	UN/EDIFACT 標準セットに基づいた電子メッセージの形式。UN/EDIFACT 作業グループによって開発/維持され、UN/TDID のディレクトリに保管されている。	

EDIFACT Working Group	EDIFACT 作業グループ	UN/EDIFACT	To develop and maintain UN/EDIFACT, support of harmonised implementations and the use of multi-lingual terminology.	UN/EDIFACT を開発、維持する UN/EDIFACT の作業グループの一つ。その協調性のとれた実装サポート、および複数言語対応用語集の使用も担当している。	
Elaboration Phase	推敲段階		The second phase of the process where the product vision and its architecture are defined.	RUP(ラショナル統一プロセス)の第二段階。製品のビジョンおよびその構造が定義される。	RUP(ラショナル統一プロセス)の第二段階。分析段階で挙げられたユースケースを詳細に渡って定義し、システムアーキテクチャを設計するフェーズ。
Electronic Business	電子ビジネス	eBusiness	A generic term covering information definition and exchange requirements within and between enterprises by electronic means	企業内、および企業間における情報の定義および情報交換の必要条件を一般的に表す言葉。定義には、顧客との間の情報交換も含まれる。	
electronic business XML	ebXML	ebXML			
Electronic Commerce	電子商取引	EC	Electronic Commerce is doing business electronically. This includes the sharing of standardised unstructured or structured business information by any electronic means.	取引を電子的に行うこと。これには、標準化された非構造化取引情報、あるいは構造化取引情報を何らかの電子的な手段(電子メール、メッセージの交換、Web 技術、電子掲示板、スマートカード、電子送金システム、電子データ交換システム、自動データ取得技術など)を用いて共用することが含まれる。	
Electronic Data Interchange	電子データ交換	EDI	The automated exchange of any predefined and structured data for business among information systems of two or more organizations.	複数組織の情報システム間で、あらかじめ定義され構造化された取引データを自動的に交換すること。	
Element	要素		An atomic constituent of a model.	モデルの原子的構成要素。	XML 構文では、XML 文書を構成する単位。

Encryption	暗号化		Cryptographic transformation of data (called "plaintext") into a form (called "ciphertext") that conceals the data's original meaning to prevent it from being known or used.	元のデータ（平文）を、その意味が判読されない、あるいは利用されない形（暗号文）に暗号化変換すること。	
Entity Classes	エンティティクラス		A class used to model information that has been stored by the system, and the associated behaviour. A generic class, reused in many use cases, often with persistent characteristics. An entity class defines a set of entity objects, which participate in several use cases and typically survive those use cases.	システムに格納されている情報とその振る舞いをモデル化する際に用いられるクラス。多くのユースケースで再利用される汎用クラスで、永続的な特性を持つ場合が多い。エンティティクラスは、複数のユースケースで用いられ、通常ユースケースが終了するまで生き続ける一連のエンティティオブジェクトを定義する。	実体を表すクラス。長期間存在する、永続性のある情報をモデル化する場合が多い。エンティティクラスは、個人、実社会のオブジェクト、実社会のイベントなどといった何らかの現象や概念に関する情報と、それに関連しているものを表すクラス。制御クラスは、処理を管理・制御しているのクラスであり、メッセージを受けて実際に稼動するのはエンティティクラスである。
Enumerations	列挙		A class used to model information that has been stored by the system, and the associated behaviour. A generic class, reused in many use cases, often with persistent characteristics. An entity class defines a set of entity objects, which participate in several use cases and typically survive those use cases.	名前付き値の一覧。特定の属性タイプの定義域を示すために用いられる。たとえば、RGBColor = {red, green, blue}。ブール演算子は既定の演算で、値は集合 {false, true} の要素によって与えられる。	
eXtensible Markup Language	拡張マークアップ言語	XML	XML is designed to enable the exchange of information (data) between different applications and data sources on the World Wide Web and has been standardized by the W3C.	WWW上の異なるアプリケーションおよびデータソースの間で情報（データ）の交換を可能とするために、W3Cによって標準化されたマークアップ言語の一種。	

Formal Description Technique	形式記述技法		A specification method based on a description language using rigorous and unambiguous rules both with respect to developing expressions in the language (formal syntax) and interpreting the meaning of these expressions (formal semantics).	言語での表現法（公式の構文）の開発とそれらの表現の意味の解釈（公式の意味）との両面について、厳密であいまいさのない規則を用いた記述言語による仕様化手法。	
Functional Service View	機能サービスビュー	FSV	A perspective of business transactions limited to those information technology interoperability aspects of IT systems needed to support the execution of open-edited transactions.	標準電子取引トランザクションの実行をサポートするために必要な、ITシステムにおける情報技術の互換性に焦点が絞られている取引トランザクションの一側面。	
Functional Set	機能集合		A set of alternative representations for the same semantic concept.	同一の意味概念に対する代替表現の集合。	
Generalization	汎化		A taxonomic relationship between a more general element and a more specific element. The more specific element is fully consistent with the more general element and contains additional information. An instance of the more specific element may be used where the more general element is allowed. See inheritance.	一般的要素と特定要素との間の分類上の関係。特定要素は、その一般的要素に対し、まったく矛盾する点がなく、追加的な情報のみを含む関係。特定要素のインスタンスは、その一般的要素が許容される状況において用いることができる。	より一般的な要素とそれを除いたより特殊な要素との関係を表す。1つ以上の要素の共通な構造や振る舞いを一般的な要素(スーパークラス)として共有して、要素独自の部分は特殊な要素(サブクラス)として定義する。
Implementation	実装		An implementation is the realization of a specification.	仕様の実現のこと。	

Inception phase	方向付け段階		The first phase of the Unified Process, in which the seed idea, request for proposal, for the previous generation is brought to the point of being (at least internally) funded to enter the elaboration phase.	ラショナル統一プロセス (Rational Unified Process) の第 1 段階。前世代の仕組みに対する要求やアイデアが提起され、次の推敲段階 (Elaboration Phase) のベースとなる。	RUP の第 1 段階である。要求分析を行うフェーズであり、その際には、システムの機能分析・アーキテクチャの構成やコスト面も含めて分析する。
Information Bundle	情報束		The formal description of the semantics of the information to be exchanged by Open-edi Parties playing roles in a Open-edi scenario.	標準電子取引シナリオの中で役割を果たす標準電子取引当事者間で交換される情報の意味の形式記述。	
Inheritance	継承		The mechanism by which more specific elements incorporate structure and behaviour of more general elements related by behaviour.	振る舞いによって関連付けられる、一般性要素の構造及び振る舞いを特定要素に組み込む仕組み。汎化 (generalization) の項を参照のこと。	一般的な要素と振る舞いを一体化して別の要素に取り入れを可能にするメカニズム。
Instance	インスタンス		An entity to which a set of operations can be applied and which has a state that stores the effects of the operations.	一連の操作が適用可能で、その操作結果を格納する状態を持つエンティティ。	オブジェクトとほぼ同義で使用される。クラス概念に対して、クラスが表現している型(テンプレート)の具体例であるオブジェクトを、特にクラスとして区別する場合にインスタンスと呼ぶ。

Interaction Diagram	相互作用図		Shows how several objects collaborate in single use case.	ある一つのユースケースの中で、幾つかのオブジェクトが協同する様子を図示するもの。	オブジェクト間の相互作用の様子を図式化したものである。システムの動的ビューを扱う。相互作用図には、オブジェクト間の接続関係を表現するのに適しているコラボレーション図とオブジェクト間の相互作用を時系列に表現するのに適しているシーケンス図がある。
Interface	インタフェース		A collection of operations that are used to specify a service of a class or a component. A named set of operations that characterize the behaviour of an element.	あるクラスまたはコンポーネントに属するサービスを指定する操作の集まり。ある要素の振る舞いを特徴付ける一連の名前付き操作。(behaviour の訳語は振る舞いとなっているのが)	クラス・オブジェクト・コンポーネントあるいは他の実体において外部的に公開しているオブジェクトの操作方法。クラス・オブジェクト・コンポーネントの場合に、インタフェースは操作のシグニチャを含む。
International Standard Organisation	国際標準化機構	ISO	The International Organization for Standardization.	国際標準化機構	
Lexicon	レキシコン		The word lexicon used in UN/CEFACT Modeling Methodology express the bridge between the specific business or industry language and the knowledge expressed by the models in a more generalized industry neutral language. The lexicon contains data and process definitions including relationships and cross-references as expressed in business terminology.	レキシコン(語彙目録)という言葉が UN/CEFACT Modeling Methodology にて用いられる場合、特定の取引または業界用語と、業界に依存しないより一般的なモデルを用いた表現との間の橋渡しを意味する。レキシコンには、ビジネス用語で表現された関係およびクロスリファレンスを含む、データおよびプロセスの定義が含まれる。	
Message Envelope	メッセージエンベロープ		A communication independent envelope, specifically MIME multipart/related, which contains the two main parts of an ebXML compliant message (the Header and Payload containers).	とくに MIME のマルチパート関連の通信独立のエンベロープで、ebXML 適合メッセージの二つの主パート(ヘッダコンテナと搬送内容コンテナ)を含むもの。	

Message Header	メッセージ ヘッダ		A specification of the structure and composition of the information necessary for an ebXML Messaging Service to successfully generate or process and ebXML compliant message.	ebXML メッセージ取扱サービスが ebXML 適合メッセージをきちんと生成、あるいは処理するために必要な情報の構造、および構成の仕様。	
Message Service	メッセージ 取扱サービス		A framework that enables interoperable, secure and reliable exchange of Messages between Trading Partners.	商取引当事者間で、相互運用性があり、かつ安全確実なメッセージ交換を可能とするフレームワーク。	
Messages	メッセージ		A specification of the conveyance of information from one instance to another, with the expectation that activity will ensue. A message may specify the raising of a signal or the call of an operation.	何らかのアクティビティが実行されることを想定して、一つのインスタンスから別のインスタンスへ送られる情報の伝達仕様。メッセージには、信号の発生、あるいは操作の要求を指定することができる。	オブジェクト間の通信仕様で、情報を伝え、その結果アクティビティが発生することを想定したもの。通常、メッセージの受信はイベントと考えることができる。
Messaging Capability	メッセージ 取扱機能		The set of capabilities that support exchange of Documents between Parties.	当事者間で文書交換を扱う機能の集合。	
Messaging Service Layer	メッセージ 取扱サービス レイヤ		Enforces the "rules of engagement" as defined by two Trading Partners in a Collaboration Protocol Agreement (including, but not limited to security and Business Process functions related to Message delivery).	コラボレーションプロトコル合意書（メッセージ配信に関わる機密保護、および業務プロセス機能を含むがそれに限定されるわけではない）において両方の商取引当事者により定義する形で、参加規則を適用するもの。	
Meta Object Facility	メタオブジェクト ファシリティ	MOF	Meta Object Facility		
Metaclass	メタクラス		A class whose instances are classes. Metaclasses are typically used to construct metamodels.	そのインスタンスがクラスであるようなクラス。メタクラスは通常、メタモデルの構築に用いられる。	
Metamodel	メタモデル		A model that defines the language for expressing a model.	モデルを表現するために用いられる言語を定義するモデル。	

Metaobjects	メタオブジェクト		A generic term for all metaentities in a metamodeling language. For example, metatypes, metaclasses, metaattributes, and metaassociations.	メタモデル記述言語で用いられる全てのメタエンティティを表す一般的な用語。たとえば、メタタイプ、メタクラス、メタ属性、メタ関連など。	
Method	メソッド		The detailed, logically ordered plans or procedures followed to accomplish a task or attain a goal.	課題を遂行する、あるいは目標を達成するときに踏まえる、論理的に順序化された詳細な段取りや手順。	振る舞い(操作)の実装。操作の結果をもたらすアルゴリズムまたは手続き。
Methodology	方法論		The science of method. a body of methods used in a particular branch of activity.	技法の科学的体系。特定のアクティビティに用いられるメソッドの本体。	
Model	モデル		A semantically closed abstraction of a system. In the Unified Process, a complete description of a system from a particular perspective ('complete' meaning you don't need any additional information to understand the system from that perspective); a set of model elements. Two models cannot overlap. A semantically closed abstraction of a subject system.	意味論的に範囲を限定したシステムの抽象概念。Unified Process では、ある特定の観点からの、一つのシステムの完備な記述のこと(「完備」とは、この観点からシステムを理解するにあたり、情報の追加を必要としないことを意味する)。モデル要素の集まり。2つのモデルが互いに重複することはない。意味論的に範囲を限定したある課題に対するシステムの抽象概念。	範囲を限定した現実を単純化したもの。開発しようとするシステムをより深く、ユーザから開発者までの幅広い人々が仕様について理解できるようにするために作成するもの。
Modeling tools	モデル作成ツール		Any device or implement used to carry out modeling whether manually or by a machine.	人手、あるいは機械によりモデル記述を実施する際に用いられる装置または導入ソフトウェア。	モデル記述やそれに伴うコード生成が実行可能なソフトウェア(ケースツール)。
Multipurpose Internet Message Extensions	多目的インターネットメッセージ拡張	MIME	Multipurpose Internet Message Extensions	インターネットメールのメッセージを拡張する方法の規定。	
Naming	名前付け		To give a string used to identify a model element.	モデル要素を識別するために用いられる文字列を与えること。	

Object Constraints Language	オブジェクト制約言語	OCL	OCL is a specification language that uses logic for specifying invariant properties of systems comprising sets and relationships between sets.	集合および集合間の関係を構成するシステムの不変的特性を指定するためのロジックを使用する指定言語。	
Object diagram	オブジェクト図		A diagram that encompasses objects and their relationships at a point in time. An object diagram may be considered a special case of a class diagram or a collaboration diagram.	ある時点におけるオブジェクト、およびそれら相互間の関係を網羅するダイヤグラム。オブジェクト図は、クラス図またはコラボレーション図の特殊なケースとして捉えることが可能である。	
Object Oriented Approach	オブジェクト指向アプローチ	OOA	The development of classes of business objects may support and have an impact on the developments in the area of simplification of EDI and its standards. A business object is a true representation of a tangible concept stemming from real business usage.	ビジネスオブジェクトのクラスを開発することは、EDI およびその標準規格を単純化する分野において、開発を支援したり、大きな影響を及ぼす可能性がある。ビジネスオブジェクトは、現実の取引に根ざす具象的な概念を実際に表現するものである。	データ構造と振る舞いが一体となったオブジェクトを単位としてシステムを分析・設計・実装する方法。カプセル化(インタフェースのみを外部に公開してその実装を隠すこと)、継承などの機能を利用することで、依存性の低い、より独立した、再利用しやすい単位でシステム構築を可能にするアプローチ。
Objects	オブジェクト		An entity with a well-defined boundary and identity that encapsulates state and behaviour. State is represented by attributes and relationships, behaviour is represented by operations, methods, and state machines. An object is an instance of a class.	明確に定義された境界、および状態と振る舞いを内包する識別性を備えたエンティティ。状態は属性および関係によって表され、振る舞いは操作、メソッド、および状態マシンによって表される。オブジェクトはあるクラスの一つのインスタンスである。	現実世界を構成する物事や概念を具体的に表現したものの。
Open-edi	標準電子取引		Electronic data interchange among multiple autonomous organizations to accomplish an explicit shared business goal.	明示的に共通認識されている取引目標を達成するために、複数の自律組織間で行われる電子的なデータ交換。	

Package	パッケージ		A general-purpose mechanism for organizing elements into groups.	要素をグループに編成する汎用メカニズム。パッケージは、別のパッケージの中に入れ子構造にすることが可能である。	モデル要素をグループ化するメカニズム。UMLの全てのモデル要素と図は、パッケージにいれることが可能である。
Package Diagram	パッケージ図		Shows groups of classes and dependencies among them.	クラスの集まり(グループ)、およびこれら間の依存関係を示すもの。	パッケージを用いてシステムを図式化したもの。
Party	関係者		A Party is an entity such as a company, department, organisation or individual that can generate, send, receive or relay Documents.	文書を生成、送信、受信、あるいは伝達できる企業、部門、組織、あるいは個人などの主体。	電子ビジネスのコミュニティに登場、あるいは関与する役割のプレーヤーのこと。「Party」が一般的(特定されていない)に使用されるときは「関係者」であり、特定されている場合は「当事者」とする。
Party Discovery Process	関係者探索プロセス		A Collaborative Process by which one Party can discover CPP information about other Parties.	一方の当事者が他方の当事者に関する CPP 情報を探索可能とする協働プロセス。	
Patterns	パターン		offers useful bits of analysis, design, and coding techniques. Good examples to learn from; starting point for designs.	分析、設計、およびコード作成に活用できる有用なテクニックの断片を提供するもの。学習にあたっての好適な事例で、設計を開始する際のたたき台となる。	ソフトウェアの分析・設計・実装上での問題を解決する際に用いる典型的な形式。パターンを適応・再利用・応用して利用することで時間を節約して、リスクを軽減できる。
Payload	搬送内容		A section of data/information that is not part of the ebXML wrapping.	ebXML の搬送用の封筒部分には該当しないデータ又は情報部分。	
Payload Container	搬送コンテナ		An optional container used to envelope the real payload of an ebXML message. If a payload is present, the payload container must consist of a MIME header portion (the ebXML Payload Envelope) and a content portion (the payload itself).	ebXML メッセージの実際の搬送内容を封入するために用いる搬送容器。搬送内容が存在する場合には、搬送コンテナは、MIME ヘッダ部分 (ebXML 搬送エンベロープ) と搬送内容部分 (搬送内容そのもの) を含む必要がある。	
Payload Envelope	搬送エンベロープ		The specific MIME headers that are associated with a MIME part.	MIME 部分に付随する特定の MIME ヘッダ。	

Phases	段階		The time between two major project milestones, during which a well-defined set of objectives is met, artifacts are completed, and decisions are made to move or not move into the next phase.	プロジェクトにおける二つの主要な経過確認ポイント間の時間区間。その間に、明確に定義された一連の目的を満足し、生成物を仕上げたうえで、次の段階へ進むか否かの意思決定を行う。	プロセスの2つのマイルストーンには含まれた期間
Process	プロセス		A series of actions directed toward a particular aim	特定の目的に向かって実行される一連の活動	
Projects	プロジェクト		A task or scheme that requires a large amount of time, effort, and planning to complete	成し遂げるために多大の時間、努力、および計画を必要とする課題、あるいは目論見。	
Protocol	プロトコル		A specification of a compatible set of messages used to communicate between capsules. The protocol defines a set of incoming and outgoing messages types (e.g. operations, signals), and optionally a set of sequence diagrams which define the required ordering of messages and a state machine which specifies the abstract behaviour that the participants in a protocol must provide.	カプセルの間で通信を行う際に用いられる、互換性のあるメッセージ集合の仕様。プロトコルは、入力および出力される一連のメッセージタイプ(例: 操作、信号)を定義する。さらにオプションとして、所定のメッセージの順序付けを定義する一連のシーケンス図、およびあるプロトコルへの参加者が提供する必要のある抽象的振る舞いを指定する状態マシンを定義する。	
Register	登録簿		An official list in which items are recorded for reference (list of elementary data in which the meaning -i.e. semantics- of these data is defined).	参照のために、項目が記録されている公式の一覧簿(それらのデータの意味が定義されている基本データの一覧)。	
Registry	レジストリ		A mechanism whereby relevant repository items and metadata about them can be registered such that a pointer to their location, and all their metadata, can be retrieved as a result of a query.	関連する登録項目とそのメタデータが、その所在位置を指すポインタおよびすべての関連メタデータのある検索操作により検索可能となるように登録できる仕組み。	
Registry Authority	レジストリ管理機関		An organisation responsible for maintaining a registry.	レジストリを保守管理する責任を持つ組織。	

Registry Clients	レジストリクライアント		An ebXML application that makes use of services offered by a Registry using the messaging services.	レジストリにより提供されるサービスをメッセージ取り扱いサービスを用いて利用する ebXML アプリケーション。
Registry Entry	レジストリエントリ		To refer to an object that provides metadata about a repository item.	登録項目に関するメタデータを提供するオブジェクトを参照すること。
Registry Infrastructure Provider	レジストリ基盤提供者		An entity which provides a registry/ repository to store profiles, CPPs etc.	実装規約や CPPなどを格納するレジストリやリポジトリを提供する主体。
Registry Interface	レジストリインタフェース		A set of Registry Services that provide access to Registry content to clients of the Registry is defined in the ebXML Registry Services Specification.	レジストリクライアントがレジストリ内容をアクセスするために提供される一連のレジストリサービス。ebXML レジストリサービス仕様で規定されている。
Registry Item	登録項目		The content registered in a repository.	登録簿に登録されている内容。
Registry Service	レジストリサービス		A way of providing access to Registry content to clients of the Registry.	登録簿の内容へのアクセスを登録簿利用者に提供する方法。
Relationship	関連		A semantic connection among model elements. Examples of relationships include associations and generalizations.	モデル要素間の意味的な接続。関係の例として、関連付けや汎化がある。
Repository	リポジトリ		A location or set of distributed locations where Repository Items, pointed at by the registry, reside and from which they can be retrieved.	レジストリによって指し示される登録項目が置かれ、検索される所在位置、あるいは分散所在位置の集まり。
Representation Type	表現形式型		Type of data to be used to represent the content of an information entity	ある情報エンティティの内容を表すために用いられるデータのタイプ。
Re-use	再利用		Further use or repeated use of an artifact	生成物の更なる利用または繰り返し利用。

Role	役割		The named specific behaviour of an entity participating in a particular context.	特定のコンテキストに参加するエンティティの行う、名前付きの特定の振る舞い。	2 つクラス間に存在する役割や立場、責任を示すものであり、関連の一方または両方の端にロール名を付けて表現する。オブジェクト/ロール名で表現することも可能である。
Scenario	シナリオ		A formal specification of a class of business activities having the same business goal.	同じ取引目標を持つ取引活動が形成するクラスの形式仕様。	
Schema	スキーマ		In the context of the MOF (Metadata Object Facility), a schema is analogous to a package which is a container of model elements. Schema corresponds to an MOF package. Contrast metamodel, package corresponds to an MOF package.	MOF (Metadata Object Facility) のコンテキストにおいては、スキーマは、モデル要素のコンテナであるパッケージに類似している。スキーマは MOF パッケージに対応している。メタモデル (metamodel) とは対照的に、パッケージは MOF パッケージに対応している。	
Security Model	セキュリティモデル		A schematic description of a set of entities and relationships by which a specified set of security services are provided by or within a system.	あるシステムが内装する、あるいは提供する、所定の機密保護サービスを提供するためのエンティティおよび関連の集合を体系的に記述するもの。	
Security Policy	セキュリティ施策		A set of rules and practices that specify or regulate how a system or organization provides security services to protect sensitive and critical system resources.	機密性が高い重要なシステム資源を守るために、システムあるいは組織が提供する機密保護サービスをどのように指定、あるいは制度化するかを規定する規則および実践。	
Semantics	意味情報		Relating to meaning in language; relating to the connotations of words.	ことばの意味との関係。単語の暗示の意味との関係。	

Sequence Diagram	シーケンス図		A diagram that shows object interactions arranged in time sequence. In particular, it shows the objects participating in the interaction and the sequence of messages exchanged. Unlike a collaboration diagram, a sequence diagram includes time sequences but does not include object relationships. A sequence diagram can exist in a generic form (describes all possible scenarios) and in an instance form (describes one actual scenario). Sequence diagrams and collaboration diagrams express similar information, but show it in different ways.	オブジェクト間の相互作用を時間経過に沿って整理した図。とくに、オブジェクト間の相互作用に参加したオブジェクト、および交換されたメッセージのシーケンスを表す。シーケンス図は、コラボレーション図とは異なり、時間的順序は記述するが、オブジェクトの相互関係は記述しない。シーケンス図は、汎化形式(可能なシナリオを全て記述する)と、インスタンス形式(一つの実シナリオを記述する)のどちらの形式もある。シーケンス図とコラボレーション図は、似たような情報を表現するが、異なる方法で表す。	相互作用図の1つであり、オブジェクト間のメッセージのやり取りを時系列に沿って並べて図式化したもの。コラボレーション図では、メッセージに順番を付けることで、同様のことを表現することが可能である。
Signature	シグニチャ		The name and parameters of a behavioural feature. A signature may include an optional returned parameter.	振る舞いの機能の名前およびパラメータ。シグニチャには、戻りパラメータを含めることができる(オプション)。	操作、メッセージあるいはシグナルの名前、引数、そして戻り値を示す文字列。これらの中には、戻り値、メッセージ名、引き数リストなどの特質が存在する。
Simple Electronic Business	シンプル電子ビジネス	SEB	Simple Electronic Business is the application of simplified business processes, using core application data, and new and existing standardised techniques that support paperless and efficient operations.	コアアプリケーションデータ、およびペーパーレスで効率的な運用を支援する新たな、あるいは既存の標準技術を利用する、簡略化されたビジネスプロセスのアプリケーション。	
SIMPL-EDI	シンプルEDI		Subsets of UN/EDIFACT messages especially designed for SMEs. Simple Electronic Business defines simplest processes and their required core data allowing the exchange of the minimum data to effect a business transaction electronically.	SME(中小企業)を特に考慮して設計されたUN/EDIFACTメッセージの部分集合。シンプル電子ビジネスは、取引トランザクションを電子的に有効なものとする最小限のデータ交換を可能とする最も単純なプロセスとその所定のコアデータを定義する。	
Specification Schema	仕様スキーマ		An additional view of a meta model.	メタモデルの追加的なビュー。	

Stakeholder	利害関係者		An individual who is materially affected by the outcome of the system.	システムの成否によって多大な影響を受ける個人。	
State Chart Diagram	ステートチャート図		Shows how single object behaves across many use cases.	一つのオブジェクトが数多くのユースケースにまたがって、どのように振舞うかを示す図。	1つのオブジェクトに注目して、その状態の変化を表した図。外部からの刺激に対する、あるオブジェクトの反応の様子を示す。
State Machine	ステートマシン		A behaviour that specifies the sequences of states that an object or an interaction goes through during its life in response to events, together with its responses and actions.	一つのオブジェクト、あるいは相互作用が、事象に対する応答におけるライフサイクルの間に経過する状態のシーケンスを、その応答、およびアクションとともに指定する一つの振る舞い。	オブジェクトがそのライフサイクルの中で、イベントへの応答として通過する状態をそれらのイベントへの応答と一緒に指定する。
States	状態		A condition or situation during the life of an object during which it satisfies some condition, performs some activity, or waits for some event. Contrast state [OMA].	オブジェクトのライフサイクルの中で、そのオブジェクトが何らかの条件を満足するか、何らかの動作を実行するか、あるいは何らかのイベントの発生を待つ条件、または状況。	そのオブジェクトがとりうる1つの状態、段階を示す。オブジェクトに属する状態は、状態遷移によって変化し、そのオブジェクトが持つ属性値の範囲や、イベントによって変化する。
Stereotype	ステレオタイプ		A new type of modeling element that extends the semantics of the metamodel. Stereotypes must be based on certain existing types or classes in the metamodel. Stereotypes may extend the semantics, but not the structure of pre-existing types and classes. Certain stereotypes are predefined in the UML, others may be user defined. Stereotypes are one of three extensibility mechanisms in UML..	メタモデルの意味情報を拡張する、新しいタイプのモデル記述要素。ステレオタイプは、メタモデル内の既存のタイプまたはクラスをもとに定義する必要がある。ステレオタイプは、意味情報を拡張することはできないが、既存のタイプおよびクラスの構造を拡張することはできない。ある種のステレオタイプはUMLにあらかじめ定義されているが、その以外はユーザが定義可能である。ステレオタイプはUMLにおける三つの拡張メカニズムの一つである。	UMLの拡張メカニズムの1つ。個々のユーザ問題に固有の新しい規則を追加したり、既存の規則を修正したりして、UMLのモデルを拡張するメカニズム。正しいモデルになる為に満たしておかなければならない条件を記述する。
Submitting Organisation	申請組織		Any organisation that submits a repository item to be registered in a repository.	登録簿に登録する登録事項を提出する任意の組織。	

Supply Chain	サプライチェーン		A sequence of events, which may include conversion, movement or placement, which adds value to goods, products, or services.	変換、移動あるいは設置など、商品、製品、あるいはサービスへ価値を付加する一連の事象。	
System	システム		As an instance, an executable configuration of a software application or software application family; the execution is done on a hardware platform. As a class, a particular software application or software application family that can be configured and installed on a hardware platform. In a general sense, an arbitrary system instance. A collection of connected units that are organized to accomplish a specific purpose. A system can be described by one or more models, possibly from different viewpoints.	インスタンスとしては、ソフトウェアアプリケーションまたはソフトウェアアプリケーション群の実行可能な構成；ハードウェアプラットフォーム上で実行される。 クラスとしては、一つのハードウェアプラットフォームに構成し、設置できる特定のソフトウェアアプリケーションまたはソフトウェアアプリケーション群。 一般的には、任意のシステムインスタンス。特定の目的を遂行するために組織化され、関係された機能単位の集まり。一つのシステムは、異なる観点から、1つ以上のモデルによって記述できる。	
Tagged value	タグ付値		The explicit definition of a property as a name-value pair. In a tagged value, the name is referred as the tag. Certain tags are predefined in the UML; others may be user defined. Tagged values are one of three extensibility mechanisms in UML. OMG UML Specification	一つの特性を「名前と値」の対の形で明示的に定義したものである。タグ付値に関しては、名前はタグと呼ばれる。ある種のタグは、UMLであらかじめ定義されている。その以外のタグはユーザ定義可能である。タグ付値は、UMLの3つの拡張メカニズムのうちの一つである。	UMLの拡張メカニズムの1つ。キーワードと値が対になったもので、キーワードも値も、文字列で表される。
Template	テンプレート		A pre-defined structure for an artifact.	成果物に対し、あらかじめ定義されている構造。	
Type	型		Description of a set of entities which share common characteristics, relations, attributes, and semantics. A stereotype of class that is used to specify an area of instances (objects) together with the operations applicable to the objects. A type may not contain any methods.	共通の特徴、関係、属性、および意味情報を共有するのエンティティ集合の記述。インスタンスの範囲(オブジェクト)を、そのオブジェクトに適用可能な操作とともに指定するために用いるクラスのステレオタイプ。タイプは、メソッドを一切含んではならない。	

Unified Modelling Language	統一モデリング言語	UML	A set of diagrams that communicate requirements regarding a business process.	業務プロセスに関する要件を伝達する一連の図。	
Unique Identifier	一意識別子	UID	The abstract concept of utilizing a standard mechanism and process for assigning a sequence of alphanumeric codes to ebXML Registry items, including: Core Components, Aggregate Information Entities, and Business Processes	コア構成要素、集合情報エンティティ、ビジネスプロセスなど、ebXML登録事項に対し、一連の英数字コードを割り当てるために、標準的な仕組みやプロセスを活用することの抽象概念。	
Universally Unique Identifier	絶対一意識別子	UUID	An identifier that is unique across both space and time, with respect to the space of all UUIDs.	すべての UUID 空間に関して、空間および時間をまたがり固有である識別子。	
Use Case	ユースケース		The specification of a sequence of actions, including variants, that a system (or other entity) can perform, interacting with actors of the system. See use-case instances. A use-case class contains all main, alternate flows of events related to producing the 'observable result of value'. Technically, a use-case is a class whose instances are scenarios.	システム(またはその他のエンティティ)から実行でき、システムのアクターと相互作用を持つ、変形アクションを含む、アクションのシーケンスの仕様。ユースケースインスタンスの項を参照のこと。一つのユースケースクラスは、「認識可能な価値のある結果」の生成に関連する事象のメインフロー、代替フローの全てを含んでいる。技術的には、ユースケースは、そのインスタンスがシナリオとなるクラスである。	システムの利用者(アクター)に対して何らかの結果やサービスを提供するためにシステムが実行する機能。
Use Case Model	ユースケースモデル		A model that describes a system's functional requirements in terms of use cases.	ユースケースを用いて、システムの機能面での要求条件を記述するモデル。	ユースケースとアクターの相互関係を図式化したもの。ユースケース図はシステムのユースケースビューの静的な側面を表す。
View	ビュー		A simplified description (an abstraction) of a model, which is seen from a given perspective or vantage point and omits entities that are not relevant to this perspective.	所定の見方、あるいは立場から見た単純化(抽象化)されたモデル記述。	

Vulnerability	脆弱性		A flaw or weakness in a system's design, implementation, or operation and management that could be exploited to violate the system's security policy.	システムの機密保護ポリシーに违背して悪用される可能性のあるシステム設計、実装、あるいは運用管理における欠点、あるいは弱点。	
Well-formedness rules	ウェルフォームドルール		The rules and constraints on valid models are defined. The rules are expressed in English prose and in a precise ObjectConstraint Language (OCL).	有効なモデルに適用される規則および拘束条件を定義する。規則は散文体の英語、および精確なオブジェクト制約言語 (OCL : Object Constraint Language) を用いて表現される。	
Workflow	ワークフロー		The sequence of activities performed in a business that produces a result of observable value to an individual actor.	個々のアクターに対し、識別可能な価値のある結果を生み出す業務において実行されるアクティビティの順序。	部門における活動の流れや業務の手順、アプリケーションのある機能の動作の様子。UMLではアクティビティ図を用いて表現する。